

日本研究・知的交流事業に必要な経費

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費

- (1) 日本研究ネットワーク強化（主催）〔アジア・大洋州〕
- (2) 北京日本学研究センター派遣（北京外国語大学）
- (3) 北京日本学研究センター派遣（北京大学）
- (4) 北京日本学研究センター招へい（北京外国語大学）
- (5) 北京日本学研究センター招へい（北京大学）
- (6) 北京日本学研究センター研究支援（北京外国語大学）
- (7) 北京日本学研究センター研究支援（北京大学）
- (8) 日本研究機関支援〔アジア・大洋州〕
- (9) 日本研究ネットワーク強化（助成）〔アジア・大洋州〕

2. 人物交流事業費

- (1) 受託事業（アセアン）
- (2) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 長期）〔アジア・大洋州〕
- (3) 日本研究フェローシップ（論文執筆）〔アジア・大洋州〕
- (4) 日本研究フェローシップ（学者・研究者 短期）〔アジア・大洋州〕
- (5) 日本研究フェローシップ（高砂熱学工業）
- (6) 知的リーダー交流（招へい）〔アジア・大洋州〕

3. 催し等事業費

- (1) 知的交流会議（助成）〔アジア・大洋州〕
- (2) 知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕
- (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕
- (4) 人材育成グラント〔アジア・大洋州〕

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (1) 日本研究ネットワーク強化 (主催) [アジア・大洋州]

学問分野を超えた日本研究者・研究機関相互の連携と協力を推し進め、各国・地域における中核的な知日層とわが国の長期的な関係を維持発展させるため、海外の日本関連学会や元日本人留学生の組織化・活動を支援する。

合計額 12,561,590 円

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
1	東アジア日本研究フォーラム	韓国	済州	ホテルロッテ済州	韓国日本学会 (Korea Association of Japanology)	2010.12.04 ~ 2010.12.05	東アジアにおける日本研究のネットワークづくりを目指す韓国日本学会主催の「東アジア日本研究フォーラム」にあたり、記念講演実施のため上垣外(かみがいと)憲一(大手前大学教授)を派遣
2	北京日本学研究中心設立25周年国際シンポジウム	中国	北京	北京外国語大学		2010.09.01 ~ 2010.10.30	「世界の日本学研究の趨勢と協力」をテーマに国際シンポジウムと分科会、複数の論文コンテストを2日間(10.10.16~17)実施。海外における日本研究の内容や役割が大きく変化しつつある中、世界各地の日本研究の抱える様々な課題を討議し、今後の関係者間での連携、ネットワーク形成を促進。中国側から徐永吉(中国教育部国際合作与交流司長)や陳雨露(北京外国語大学学長)等、日本側から丹羽宇一郎(駐中国大使)、青木保(元文化庁長官)等の要人の出席のもと開催
3	日本研究セミナー	インドネシア タイ	ジャカルタ ジョクジャカルタ バンコク チェンマイ	インドネシア大学文学部講堂 ガジャマダ大学文学部講堂 タマサート大学教養学部 チェンマイ大学人文学部IT教室	インドネシア大学文学部 インドネシア日本研究学会 ガジャマダ大学文学部 タマサート大学教養学部(タープラチャン・キャンパス) チェンマイ大学日本研究センター	2011.01.24 ~ 2011.02.02	平成21年度に、浜口美由紀(国際交流基金関西国際センター図書館専任司書)がインドネシアで日本研究専攻の大学院生を対象に行った「日本研究:大学院生のための基礎文献セミナー:文化・言語・文学編」が好評を得、同様のセミナー開催の要望が強いことから、本年度は、同司書が歴史及び社会科学分野の基本文献を紹介するセミナーを実施。インドネシア、タイの2カ国を巡回

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
4	日本研究セミナー (フェロー・フォローアップ・セミナー)	インドネシア	ジャカルタ スラバヤ	ジャカルタ日本文化センターホール アイルランガ大学人文学部講堂	アイルランガ大学人文学部	2011.02.24 ~ 2011.03.02	平成20年度知的交流フェローシップ(招へい)プログラムで来日した、モフタル・パボットインギ(PABOTTINGI, Mochtar)を招き、日本研究フェローシップ事業のフォローアップの一環として開催する研究成果発表セミナーを開催。日本からも小熊英二(慶応義塾大学教授)を派遣し、「ナショナル・ユニティと民主主義」をテーマに講演を実施
5	日本研究セミナー	シンガポール タイ	シンガポール バンコク バンコク	シンガポール国立大学 タマサート大学 チュラロンコン大学		2011.03.01 ~ 2011.03.06	山脇啓造(明治大学国際日本学部教授)をタイとシンガポールに派遣。チュラロンコン大学、タマサート大学、シンガポール大学の3カ所にて、学生、教員、専門家等を対象に、日本における外国人労働者を巡る諸問題と取り組みに関する講演を実施
6	日本研究セミナー	ベトナム インド	ハノイ フエ ホーチミン ニューデリー	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文社会科学大学 ニューデリー日本文化センター	ベトナム国家大学附属人文社会科学大学 フエ外国語大学 ホーチミン市人文社会科学大学	2011.02.20 ~ 2011.03.01	平成21年度にインドネシアで『日本研究：大学院生のための基礎文献セミナー：文化・言語・文化編』を開催し好評を得た。本年度は同様のセミナー開催のニーズが高いインド、ベトナムの2カ国を栗田淳子(国際交流基金JFICライブラリー主任司書)が巡回し、日本研究分野の大学生に基礎文献を紹介するセミナーを開催
7	日本研究セミナー	マレーシア	クアラルンプール ペナン コタ・キナバル	マラヤ大学 マレーシア科学大学 マレーシア サバ大学		2011.03.13 ~ 2011.03.19	渡邊頼純(慶応義塾大学総合政策学部教授)による、国際政治経済論(FTA/EPA)に関する講義をマラヤ大学(クアラルンプール)、マレーシア科学大学(ペナン)、マレーシア サバ大学(コタ・キナバル)にて実施
8	日本研究セミナー	オーストラリア	キャンベラ シドニー ブリスベン	オーストラリア国立大学 シドニー大学 クイーンズランド大学	オーストラリア国立大学 シドニー大学 クイーンズランド大学	2011.01.01 ~ 2011.03.31	ロジャー・バルバース(劇作家/東京工業大学世界文明センター所長)及びエドワード・リップセット(通訳・翻訳家/株式会社インターカム社長)を派遣、アニメやマンガ、現代アートの分野に比べ、比較的なじみの薄い日本文学に親しみを持ってもらうことを目的として、日本文学の中でも「ファンタジー」(幻想文学、SF、怪奇小説)を取り上げ、その歴史や魅力を紹介。他国の文学と比べながら、そこに「日本的な想像力」というものが見出せるのか、あるとすれば、どのような特徴があるのかなどについて、パネルディスカッションを実施

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	開催国	都市	会場	共催機関	期間	事業内容
9	日本研究セミナー	米国	ホノルル	ホノルル・コンベンション・センター	国立公文書館アジア歴史資料センター	2011.03.31 ~ 2011.04.03	米国アジア研究学会 (The Association for Asian Studies : AAS) の70周年記念総会にて国立公文書館アジア歴史資料センターが実施するパネルセッションに、濱下武志 (東京大学名誉教授)、赤木完爾 (慶應義塾大学法学部教授) 及び小谷賢 (防衛省防衛研究所戦史部主任研究官) の3名を講師として派遣
10	韓国における日本研究調査	韓国	-	-	世宗研究所日本研究センター	2011.02.15 ~ 2011.03.31	韓国における日本研究の現状を把握するため、日本研究機関・日本研究者に関する調査を実施
11	中国における日本研究調査結果の公開・刊行	中国	-	-	中華日本学会 南開大学日本研究院	2010.04.01 ~ 2010.08.30	平成21年度にデータベース化までを完了した中国における日本研究機関及び日本研究者に関する調査結果を、電子版ディレクトリー化してインターネット上で一般公開するとともに、各分野の専門家の執筆によるエッセイを加えた『中国的日本研究 (中国の日本研究)』を印刷・配布 (http://www.jpfbj.cn/Rerearch05.asp)

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (2) 北京日本学研究中心派遣 (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 32,217,889 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	竹内 信夫	東京大学名誉教授	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側主任教授として、北京日本学研究中心の教育・研究活動及び運営方針の策定・実施にかかる助言を基金およびセンターに与えるとともに「日中文化比較」の講義を担当
2	畔上 和子	北京日本学研究中心日本側事務主任	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側事務主任として、日本側主任教授、派遣教授を補佐するとともに、北京日本学研究中心内の日本側事務局の運営事務を担当
3	北村 明久	東北大学附属図書館事務部長	2010.04.19 ~ 2010.07.17 2010.08.27 ~ 2010.12.24 2011.02.21 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館の運営に関する助言等を行う図書館専門家を派遣
4	加藤 弘之	神戸大学 教授	2010.05.10 ~ 2010.06.03	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
5	豊島 正夫	東京外国語大学 教授	2010.05.17 ~ 2010.06.12	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当
6	佐々木 泰子	お茶の水女子大学 教授	2010.06.10 ~ 2010.06.30	北京日本学研究中心において、言語教育学コースの講義・学生指導を担当
7	別所 興一	愛知大学 教授	2010.06.16 ~ 2010.07.09	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
8	田中 公明	(財) 東方研究会 研究員	2010.06.28 ~ 2010.07.03	「日中文化比較」の講義の一部を担当
9	川島 真	東京大学大学院 総合文化研究科	2010.08.31 ~ 2010.09.24	北京日本学研究中心において、社会コースの講義・学生指導を担当
10	小出 慶一	埼玉大学教養学部 教授	2010.09.12 ~ 2010.10.01	北京日本学研究中心において、言語教育学コースの講義・学生指導を担当
11	吉田 忠	東北大学 名誉教授	2010.10.12 ~ 2010.11.09	北京日本学研究中心において、文化コースの講義・学生指導を担当
12	川村 湊	法政大学国際文化学部教授	2010.11.01 ~ 2010.11.30	北京日本学研究中心において、文学コースの講義・学生指導を担当
13	花崗 誠	名古屋大学経済学研究科 准教授	2010.12.06 ~ 2010.12.30	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
14	定延 利之	神戸大学大学院国際協力研究科 教授	2010.12.08 ~ 2011.01.06	北京日本学研究中心において、経済コースの講義・学生指導を担当
15	稲田 篤信	首都大学東京大学院人文科学研究科 教授	2011.03.03 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心において、日本文学コースの講義・学生指導を担当

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (3) 北京日本学研究中心派遣 (北京大学)

北京大学で実施される現代日本研究講座に対し、専門家、行政官等有識者を派遣する。

合計額 4,986,843 円

	氏名	現職	期間	事業内容
1	角南 篤	政策研究大学院大学 准教授	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本側主任教授として、日本側主任教授として、現代日本研究センターのコース運営等を担当
2	神長 善次	宇都宮大学国際学部 客員教授	2010.04.14 ~ 2010.04.17	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本文明とその国際比較」科目の講義
3	小林 三郎	一橋大学大学院国際企業戦略研究科 客員教授	2010.04.17 ~ 2010.04.21	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「未来価値創造論 (ホンダDNA: 挑戦・独創・革新の文化~本質的熟慮のススメ)」科目の講義及び講演「創造的な技術を生み出すホンダの企業文化」の実施
4	富本 幾文	政策研究大学院大学 特任教授	2010.04.25 ~ 2010.04.27	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本の政府開発援助 (ODA) と中国への期待」科目の講義
5	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2010.04.27 ~ 2010.04.29	北京大学現代日本研究センター博士第5期生に対する「日本の防災政策」科目の講義
6	原 洋之介	政策研究大学院大学 政策研究科 教授	2010.11.15 ~ 2010.11.18	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「農業と経済発展 日本の経験」科目の講義
7	岡崎 健二	政策研究大学院大学 教授	2010.12.06 ~ 2010.12.09	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「災害リスク・マネジメント」科目の講義
8	吉野 直行	慶應義塾大学 経済学部 教授	2010.12.29 ~ 2010.12.31	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「財政金融政策 (日本と中国との比較)」科目の講義
9	鈴木 賢	北海道大学 法学研究科 教授	2011.03.06 ~ 2011.03.09	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の法制度—日中比較の観点から」科目の講義
10	道下 徳成	政策研究大学院大学 准教授	2011.03.10 ~ 2011.03.12	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本の外交・安全保障政策」科目での講義
11	堀江 正弘	政策研究大学院大学 教授	2011.03.14 ~ 2011.03.17	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「日本における国・地方関係と地方自治」科目の講義
12	樋原 伸彦	立命館大学経営学部 准教授	2011.03.22 ~ 2011.03.26	北京大学現代日本研究センター博士第6期生に対する「ベンチャー企業経営とベンチャーのためのEco-System 創出」科目の講義

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (4) 北京日本学研究中心招へい (北京外国語大学)

北京外国語大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 26,019,087 円

	事業名	氏名	現職	人数	受入機関	期間	事業内容
1	フェローシップ (博士9期)	王 雪 (WANG, Xue)	北京日本学研究中心 博士課程	1	東京大学 大学院 総合文化研究科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
2	フェローシップ (博士9期)	黄 毅燕 (HUANG, Yiyao)	北京日本学研究中心 博士課程	1	関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心博士課程の学生に対し博士論文執筆のための訪日研究フェローシップを供与
3	訪日研究 (修士24期生) 招へい	—	北京日本学研究中心 修士課程	20		2010.03.30 ~ 2010.08.03	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導
4	訪日研究 (修士25期生) 招へい	—	北京日本学研究中心 修士課程	20		2011.03.30 ~ 2011.08.02	北京日本学研究中心の修士課程学生に訪日研究の機会を提供。日本各地の大学・研究機関等の教授・研究者が受入教官となり、修士論文の草稿作成・資料収集を指導

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (5) 北京日本学研究中心招へい (北京大学)

北京大学で実施される北京日本学研究中心事業に関し、日本研究者の招へいを行う。

合計額 10,250,438 円

	事業名	人数	期間	事業内容
1	博士第5期訪日研修招へい	23	2010.05.13 ~ 2010.05.27	北京大学現代日本研究センターの講座受講生 (第5期博士課程20名、その他随行3名) に対して、北京で受けた講義の定着を目的に訪日研修を実施
2	博士第6期訪日研修 (招へい準備)			北京大学現代日本研究センターの講座受講生 (第6期博士課程20名、その他随行3名) に対して、北京で受けた講義の定着を目的に実施する訪日研修の準備

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (6) 北京日本学研究中心研究支援 (北京外国語大学)

北京外国語大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 13,192,645 円

	事業名	期間	事業内容
1	現地経費 (教育・研究)	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心が実施する紀要「日本学研究」ほか日本研究図書の出版、研究プロジェクト及び同センター教授による地方講演にかかる経費等の支援
2	教材等購送	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心に対し講義用教材、図書館資料を購送
3	文献複写	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館が日本国内の図書館に対して文献複写依頼を行う経費を支援
4	図書館システム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心図書資料館で使用中の図書館情報システムにかかるソフトウェア保守費を支援
5	ネットワーク支援	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京日本学研究中心設立25周年記念国際シンポジウム「世界における日本研究の趨勢と連携一次世代研究者への継承」(10.10.16~17)に関する実施経費の一部を負担

1. 日本研究事業費 / (7) 北京日本学研究中心研究支援 (北京大学)

北京大学北京日本学研究中心の日本研究者育成を支援する。

合計額 345,644 円

	事業名	期間	事業内容
1	教材等購送	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北京大学現代日本研究センターに対し講義用教材、図書館資料を購送

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (8) 日本研究機関支援 [アジア・大洋州]

各国において日本研究の中核的役割を担うべき単一・少数の機関に対し、日本研究事業の拡充・発展に必要な様々な支援を、包括的、集中的且つ中長期的に行い、当該国の日本研究基盤となる拠点機関の整備を進める。

合計額 89,427,118 円

	対象機関	対象国	期間	事業内容
1	高麗大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	研究・会議助成。日本研究の分野における日中韓3カ国の専門家や若手研究者を集め、東アジア国家間の交流と各国間の相互認識について多角的に議論する公開討論(2010.05)。東アジア共同体における日本研究の学問的な客観性を確保し、各国の文化ナショナリズムを警戒しつつアカデミズムによる東アジアの未来関係の構築を目指す
2	国民大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充支援として、政治学・政治史学分野を中心に近現代の日本に関する基礎資料を購送。図書出版助成として、各大学への教材としての導入を期待する基本図書「日本国内政治基本書」シリーズの第2弾(『日本の市民社会』『日本と東アジア』)を刊行
3	全南大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	研究・会議助成として、国際シンポジウム「他者から見た日韓関係」を開催(2010.10)。図書拡充支援として、明治～大正期の朝日新聞の復刻版セット等を購送
4	ソウル大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、日本専門家招へいセミナー(日本関連の学者、言論人、文化人などを招へいし、日本理解を深めるセミナー)、大学院生現地資料調査(大学院生の訪日調査研修事業)、教授引率日本現地研修の3種の事業を実施。図書拡充支援により、サブカルチャー関連の書籍、社会学、文学に関する単行本及び全集と、雑誌などを寄贈
5	翰林大学校	韓国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充支援により、日本学データベース及び近代日本思想史関連の図書を中心に基礎資料を寄贈
6	四川外語学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、講習会「日本学の方法論とその実践～日本研究の視点と姿勢を中心に～」を実施。図書拡充支援により、黄瀛とその交友関係、『銅鑼』同人の関係資料及び日中交流史、日本外交史、日本学研究に関する本、また一部の作家論など計37冊を寄贈。出版助成により、『詩人黄瀛～詩歌編・研究編』、『宮沢賢治と中国』、『「中国西南地域から考える日本～中国西南地域と日本学の可能性～」国際シンポジウム論文集』を出版
7	浙江工商大学日本語言文化学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	シンポジウム「漢字文化遡源-文字から書籍へ」及び「奈良時代と隋唐文明」に対する支援及び学術書2件の出版を支援。さらに、中国社会科学院日本研究所との共催で、若手研究者向けの「日本歴史文化」高級研修班事業にも協力
8	天津社会科学院	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	故・渡辺健(元・外務省職員)遺族より託された寄付金の運用益を活用し、日本研究関連図書を寄贈(渡辺健基金事業)
9	東北師範大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	学術誌『外国問題研究』及び学術書2件の出版を支援するとともに、教員、大学院生の訪日研修を実施
10	南開大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授2名を派遣するとともに、シンポジウム「日米欧文化外交」「『東アジアモデル』と地域発展」の開催を支援。図書拡充支援を行うとともに、機関誌、学術書の出版と研修事業への支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
11	復旦大学日本研究センター	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、伊藤正直（東京大学教授）が国際金融危機の歴史的位相をテーマに集中講義を実施。会議助成により、復旦大学日本研究センター設立20周年記念国際シンポジウム「東アジア共同体の構築における中日の競争と協力」を実施。図書拡充支援により、経済・政治に関連する図書300冊相当を寄贈。出版助成により、「復旦大学日本研究センター設立20周年記念文集」を出版
12	遼寧大学	中国	2010.04.01 ~ 2011.03.31	図書拡充として、日本研究関係の基本図書・研究文献を送付
13	国立政治大学	台湾	2011.03.01 ~ 2011.03.31	図書拡充として、日本研究関係の基本図書・研究文献を送付
14	インドネシア大学大学院日本地域研究科	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本研究客員教授派遣（直接派遣）、日本研究客員教授派遣（経費助成）、日文研・インドネシア大学大学院日本地域研究科国際シンポジウム（日本研究リサーチ・会議（助成））、修士課程運営支援、により包括的に支援を実施
15	シンガポール国立大学	シンガポール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	現代の東南アジア諸国における日本文化の役割について講義を実施するために日本から専門家を派遣するほか、同テーマによる日本文献研究、訪日プロジェクト、大学院生研究を支援
16	タマサート大学	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	修士課程の学生6名を対象とした約2週間の訪日研修事業、日本研究科の学生を対象とした講義の講師謝金、図書寄贈を支援
17	チュラロンコン大学文学部	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣、タイを中心にアジア各国から15名の発表者が参加し、日本語、日本文化、日本文学の3つの分科会からなる国際日本研究会議、修士課程の学生3名を対象とした約2週間の訪日研修の3プログラムを支援
18	アテネオ・デ・マニラ大学	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際会議「食と日本の現在」と図書寄贈を支援
19	デ・ラサール大学国際研究学科	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際研究学科日本研究プログラムの学部・修士課程の学生に対して講義を行うための日本人専門家派遣と、国際会議「民主党政権下の日本：政権交代と東アジアに与える影響」への助成を実施
20	フィリピン大学アジアセンター	フィリピン	2010.10.01 ~ 2011.03.31	政治、経済、社会、芸術分野の書籍を中心に図書を寄贈
21	ベトナム国家大学ハノイ校人文社会科学大学-東洋学部日文学科	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	会議助成により、日本の近現代及び記憶という観点から日本社会を考えるとというテーマのもと「日本学集中講座」を実施。出版助成により、平成21年度から支援の日本研究論文集シリーズ第2巻『法制史』を編集・出版
22	貿易大学	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、高橋由明（経営学：中央大学教授）を約3週間派遣。「企業経営の国際化」をテーマに日本の企業経営・経営学の発展についての集中講義と講演を実施。ハノイとホーチミンの貿易大学での講義・講演を行うほか、中部の経済中心都市ダナンでも講演
23	ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	客員教授派遣により、島善高（早稲田大学教授）が日本近代史、法制史をテーマに集中講義を実施。会議助成により、日本とメコン川流域の歴史的関係、新政策、日本の果たす役割を分析・展望するシンポジウム「日本とメコン川地域－歴史的かかわり」を実施。図書拡充支援により、日本関連図書、特に歴史・国際関係・経済・文学・日本ベトナム関係などの分野に関する図書を寄贈

アジア・大洋州交流事業費

	対象機関	対象国	期間	事業内容
24	マラヤ大学人文社会学部東アジア研究 学科日本研究プログラム	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	石井由香（立命館アジア太平洋大学教授）を客員教授として派遣（10.07.01～09.28） したほか、4件の研究・会議に対して助成
25	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	北條賢三（大正大学名誉教授）を客員教授として派遣（11.01.11～03.04）した他、 英文の日本研究図書を寄贈
26	デリー大学東アジア研究科	インド	2010.04.01 ~ 2011.03.31	伊勢崎賢治（東京外国語大学教授）を客員教授として派遣（10.08.01～10.03）した ほか、図書拡充支援を実施
27	オーストラリア国立大学	オーストラリア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	大学院生・学生向けのワークショップ「アジア・パシフィックウィーク2011」への支 援、日本研究に関する電子出版支援、日本研究者のディレクトリー調査支援を通じた 包括的な支援を実施

アジア・大洋州交流事業費

1. 日本研究事業費 / (9) 日本研究ネットワーク強化 (助成) [アジア・大洋州]

国境・学問分野を超えた日本研究者・研究機関間の連携、相互協力を推し進めるべく、学会の横断的な組織化を支援する。

合計額 23,672,017 円

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
1	韓国日本文化学会 (The Japanese Culture Association of Korea)	韓国	2010.04.01 ~ 2010.07.03	韓国の主要な日本研究学術団体が年1回共催する国際学術大会。平成22年度は、「日韓関係100年、過去・現在・未来」というテーマで南ソウル大学校で開催
2	韓国日本学会 (Korea Association of Japanology)	韓国	2010.12.04 ~ 2010.12.05	東アジア共同体形成のための共通価値や理念について日・中・韓の研究者が討論する国際フォーラム。済州島で開催
3	インドネシア日本研究学会	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	1990年に設立された同学会は、インドネシアにおける唯一の日本研究学会であり、国際シンポジウムの開催や地方での一般向けレクチャー実施、ウェブサイト運営、ジャーナル発行に係る活動経費の一部を支援
4	タイ国日本研究ネットワーク	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	タイの主要大学の若手・中堅の日本研究者が中心となり2007年5月に設立された全国的ネットワークが実施する事業。年次総会 (学会併催) をチェンマイ大学で開催 (2010.10) したほか、日本に関する研究発表の場を提供すべく、22年度より新たにアカデミック・ジャーナルの企画を開始。また、タイ学術研究基金 (TRF) との協力で、メコン諸国から日本研究者を年次総会に招へいた
5	《元日本留学生会》 インドネシア元留学生協会 (PERSADA)	インドネシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するインドネシアの元日本留学生協会の活動を支援
6	《元日本留学生会》 カンボジア元日本留学生同窓会 (JAC)	カンボジア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するカンボジアの元日本留学生協会の活動を支援
7	《元日本留学生会》 シンガポール元日本大学卒業生協会 (JUGAS)	シンガポール	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するシンガポールの元日本留学生協会の活動を支援
8	《元日本留学生会》 タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)	タイ	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するタイの元日本留学生協会の活動を支援
9	《元日本留学生会》 元日本留学生フィリピン連盟 (PHILFEJA)	フィリピン	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するフィリピンの元日本留学生協会の活動を支援
10	《元日本留学生会》 ベトナム元日本留学生会 (JAV)	ベトナム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するベトナムの元日本留学生協会の活動を支援
11	《元日本留学生会》 東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	マレーシアの「東方政策」により日本へ留学した後、帰国した元留学生が組織する同窓会の活動を支援
12	《元日本留学生会》 マレーシア元留日学生協会 (JAGAM)	マレーシア	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会) に加盟するマレーシアの元日本留学生協会の活動を支援

アジア・大洋州交流事業費

	助成対象機関	対象国	期間	事業内容
13	《元日本留学生会》 ミャンマー日本留学者協会 (MAJA)	ミャンマー	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ASEAN各国の元日本留学生同士の交流を目的として設立されたASCOJA (ASEAN元日本留学生評議会)に加盟するミャンマーの元日本留学生協会の活動を支援

2. 人物交流事業費 / (1) 受託事業 (アセアン)

日本研究・知的交流分野での国際交流基金の業務趣旨に合致する事業を外部から受託し実施する。

合計額 65,461,952 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ G	CHA, Boyoung YAN, Mingdan SAPUTRO, Muhammad Endy SIM, Satta KAN, Shuyi SRISUPAN, Pinwadee BANAAG, Leoncio Anilao MARALI, Ak Fairol Rezal Malek Faesal Pg Hj JAKA, Inra HO, Sheau Fung	Intangible Cultural Heritage Centre for Asia & the Pacific Department of Cr- eative Industry, Zhengdon Group Graduate School, Gadjah Mada University Ministry of Culture and Fine Arts Asian Civilisa- tions Museum, National Heritage Board Ubon Ratchathani University National Commis- sion for Culture and the Arts Brunei Press Association of Anthropology in Hochiminh City Cham subbranch Programme Officer, Penang Heritage Trust (Local NGO)	韓国 中国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン ブルネイ ベトナム マレーシア	2010. 04. 01 ~ 2010. 04. 13	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表 (15カ国、15名を招へい。日本人参加者2名)。テーマは「文化の多様性の再認識：アジア・オセアニア地域の可能性」。2011年1月に英文報告書 <i>Re-Acknowledging Cultural Diversity: Roles and Possibilities in the Asia and Oceania Region</i> を発行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		EI, Min Tun	National University of Arts and Culture	ミャンマー		
		KINGSADA, Somkiethtisack	Ministry of Information and Culture	ラオス		
		PRUTHI, Kanika	Jawaharlal Nehru University	インド		
		BENNETTS-KNEEBONE, Laura Jane	Research Officer, Department of Families, Housing, Community Services and Indigenous Affairs	オーストラリア		
		WAITI, Jordan Aramoana	Research Centre for Maori Health and Development	ニュージーランド		
2	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ H	KIM, Young-Bin	大韓赤十字社京畿 道支社 幹事	韓国	2010.06.21 ~ 2010.07.02	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。（14カ国、19名を招へい。日本人参加者1名）テーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」。2011年1月に英文報告書 <i>Disaster Prevention and People: Working Towards the Creation of a Strong Society</i> を発行
		PARK, Sang-Hyun	韓国国立防災研究所 工業研究士	韓国		
		ZAO, Xu	Shining Stone Community Action	中国		
		AMRI, Avianto	プラン・インターナショナル・インドネシア 緊急対策マネージャー	インドネシア		
		ANSHARYANI, Ida	サマワ大学 講師	インドネシア		
		YIN, Sopheaktra Bun	カンボジア赤十字災害リスク軽減マネージャー	カンボジア		
		SANLEE, Dawan	アンダマン救済ネットワーク基金 (SAN)	タイ		
		ABON, Catherine Cristobal	フィリピン大学 国立地学研究所	フィリピン		

アジア・大洋州交流事業費

事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
	ABUDUL SAMAT, Mas Diana Binti	サイディナオスマン学校	ブルネイ		
	PG HAJIA MUHAMMAD, DK Siti Ummikalthum	ブルネイ教育省	ブルネイ		
	NGUYEN, Ninh Trong	プラン・インターナショナルベトナム事務局	ベトナム		
	LIM, Choun Sian	東南アジア災害防止研究所	マレーシア		
	MOE MYINT, Tay Zar	国連開発計画	ミャンマー		
	DOUANGPHACHONE, Khounkham	Own Village Association	ラオス		
	PRASAD, Manish	地域経済・発展相談センター	インド		
	SHARMA, Prerna	地域経済・発展相談センター	インド		
	BRACEY, Heath Owen	タスマニア消防庁	オーストラリア		
	CLANCY, Jennifer Kate	オーストラリア国際開発局	オーストラリア		
	COSTLEY, Nichola Ann	ニュージーランドウエストコースト地区区役所	ニュージーランド		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
3	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ I	RENDRA, Kurnia Hasan	環境省	インドネシア	2010. 09. 12 ~ 2010. 09. 18	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。（8カ国、14名を招へい。日本人参加者1名）テーマは「アジアの気候変動対策：日常生活や社会・経済構造の見直し」。2011年3月に英文報告書 <i>Climate Change Measure in Asia: A Review of Daily Life and Social/Economic Structure</i> を発行
		SABITAH, Irwani	環境省	インドネシア		
		CHANTHEARITH, Ou	環境省気候変動局	カンボジア		
		LEANG, Sophal	環境省気候変動局	カンボジア		
		YEO, Daryl	貿易産業省	シンガポール		
		KANANURAK, Jakkanit	タイ温室ガス対策 団体	タイ		
		SAIYASITPANICH, Phirun	天然資源環境政策 局	タイ		
		SALUDO, Jonas Paolo Magsino	フィリピン大統領 官邸気候変動委員 会	フィリピン		
		DANG, Phuong Loan	資源・環境省国際 協力部	ベトナム		
		DO, Hoang Viet	資源・環境省国際 協力部	ベトナム		
		MAUNG, Hlaing Min	森林省国土環境委 員会	ミャンマー		
		SHWE Cin Mya Htun	外務省経済局国際 機関経済課	ミャンマー		
		BUIHAVONG, Thounheuang	水資源環境行政局	ラオス		
		SOMBATHDOUANG, Vilayphone	水資源環境行政局	ラオス		

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
4	JENESYS Programme 次世代リーダー招 へいプログラム グループ J	JEON, Inseung AGEUNG, Ivan Valentina HOUT, Huy LEONG, Chua Swee SUPITAX, Kanokphun MEDINA, Ilagan Karol Anne VILLANUEVA, Charmaine Quintua AMPUAN HAJI RAZID, Ampuan Noorirawati MOHD SARIF, Hassan TUN, Zaw Lin WIN, Aye Nandar XAIYASARN, Ketsana	韓国消防防災庁 インドネシア防災 協会 防災に関する 法律と政策マ ネージャー カンボジア・ミン チェイ地区行政事 務所 総務財務局 チーフ シンガポール市民 協会 NGO RRAFA財団 プ ログラム・オフィ サー (Foundation for Reclaiming Rural Agriculture and Food Sovereignty Action) フィリピン調査報 道センター (PCIJ) フィリピン科学技 術省 ブルネイ・テンブ ロン地区行政事務 所 総合統括行政 官 マレーシア国家安 全会議 ミャンマー社会福 祉救済復興省救済 復興局 ミャンマー社会福 祉救済復興省救済 復興局 ラオス水資源環境 庁	韓国 インドネシア カンボジア シンガポール タイ フィリピン フィリピン ブルネイ マレーシア ミャンマー ミャンマー ラオス	2011.01.20 ~ 2011.01.31	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジアコミュニティの異なる国々の若者が一堂に会し、寝食を共にしながら、文化的背景などの差異を乗り越えて、地域に共通の課題について話し合い、思索する訪日研修を実施し、その成果をグループ発表。(13カ国、16名を招へい。日本人参加者1名) テーマは「防災と人々のつながり：災害に強い社会の構築を目指して」。2011年7月に英文報告書 <i>Disaster Prevention and People: Working Toward the Creation of a Strong Society</i> を発行

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		VYAS, Nikhilkumar Rameshchandra	クルタ (CRUTA) 財団 (Foundation for Conservation and Research of Urban Traditional Architecture)	インド		
		FITZGERALD, Kate	オーストラリア司 法省 アシスタ ント・ディレクター	オーストラリア		
		SCHELL, Patrick Joseph	オーストラリア・ ニューサウス ウェールズ州地方 消防局	オーストラリア		
		WILSON, Thomas McDonald	カンタベリー大学	ニュージーランド		
5	JENESYS Programme 東アジア大学院生 日本研究特別招へ いプログラム (第3 年次)	HESTI, Nurhayati SAFITRI, Meinard Maya MODERN, Chem HEEBKAEW, Saowalak MORENO, Luna Carla NGO, Tra Mi VU, Luan Duong HUSSIN, Mohd Tramizi	インドネシア大学 大学院日本地域研 究科 インドネシア大学 大学院日本地域研 究科 王立ブノンペン大 学大学院 タマサート大学大 学院日本研究科 デ・ラ・サール大 学日本研究プログ ラム大学院 ホーチミン国家大 学人文社会科学大 学大学院 ハノイ国家大学ベ トナム研究開発科 学研究所大学院 マレーシア科学大 学 助手/博士課 程	インドネシア インドネシア カンボジア タイ フィリピン ベトナム ベトナム マレーシア	2010.07.21 ~ 2010.09.03	「21世紀東アジア青少年大交流計画 (JENESYS Programme)」の一環として実施。東アジア首脳会議 (EAS) 参加国地域で日本研究 (東アジア研究を含む) を専攻中で、今後の活躍が期待される大学院生に対し、日本の大学院・研究機関等で研究・調査活動を行う機会を提供 (9カ国、14名)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		Hnin Nwe Nwe Aung	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		Hnin Shwe Yi	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		TIN, Moe Hlaing	ヤンゴン大学国際関係学部大学院	ミャンマー		
		RAY, Sudeshna	デリー大学東アジア研究科修士課程	インド		
		THAMBI, Simi	デリー大学東アジア研究科修士課程	インド		
		VINK, Thomas Luke	ビクトリア大学ウェリントン校大学院	ニュージーランド		
6	JENESYS Programme 次世代リーダー事業 フォローアップ・プログラム	INOUE, Naomi KANEKO, Yukiko TAKAHASHI, Akiko YOSHIMASU, Miho ARSUKA, Nirwan Suprianto SENG, Hun LIM, Joe SUKPONG, Petchrung ALIPPIO, Arthur Joseph Paul FONBUENA, Carmela JOSE, Jerry LIOSAS, Racquel MANGANSAKAN, Teng		日本 日本 日本 日本 インドネシア インドネシア カンボジア シンガポール シンガポール フィリピン フィリピン フィリピン フィリピン フィリピン	2010.06.12 ~ 2010.06.17	JENESYS次世代リーダー招へい事業の総括として、各国の次世代リーダーの連携を通じた東アジアコミュニティの強化を目的に、フィリピン・マニラ首都圏において、フォローアップ事業『JENESYS新しい始まり：東アジアコミュニティの推進—共通の未来を構築する若手リーダーの役割』を実施。過去の次世代リーダー招へい事業の参加者有志がフィリピンに集まり、事業参加によって得た経験の活用方法について情報を共有。またリーダーシップスキルを向上するためのワークショップやスタディーツアーへの参加を通じて、「アジアの強固な連携」を構築するための相互理解や連携の促進を目指した。プローブメディア財団(Probe Media Foundation, Inc)と共催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
		RAYMUNDO, Sarah Jane		フィリピン		
		RIMANDO Minette		フィリピン		
		TANG, Yasmin		フィリピン		
		ZAPANTA-BABATE, Maria Silvana		フィリピン		
		ABDUL RAHMAN, Umi A' Zuhrah		マレーシア		
		JOHARI, Sofia		マレーシア		
		SAIMY, Intan Sazrina		マレーシア		
		KYAW, Thiha		ミャンマー		
		NANDI, Htwe Tra		ミャンマー		
		TUN, Maw Maw		ミャンマー		
		BOUAHOM, Bounthanom		ラオス		
		MAKAN, Shikha		インド		
		SURI, Simar		インド		
7	JENESYS Programme次世代リーダー招へいプログラムグループF（報告書作成等）				2010.04.01 ～ 2010.07.31	「21世紀東アジア青少年大交流計画（JENESYS Programme）」の一環として、平成21年度に実施した、JENESYS Programme次世代リーダー招へいプログラム・グループF（テーマ「アジア・オセアニア地域の青年が担う包括的平和構築：文化、教育の可能性」：2010.03.02～15）の実施及び英文報告書 <i>Comprehensive Peacebuilding Initiatives of young leaders in Asia and Oceania: The Potentials of Culture and Education</i> の作成・配布にかかる経費
8	JENESYS次世代リーダー招へいプログラムグループK（実施準備）				2010.11.01 ～ 2011.03.31	2011年5月に実施予定のJENESYS Programme次世代リーダー招へいプログラム・グループK（テーマ「エネルギー安全保障」）の参加者招へい準備

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (2) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 長期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 132,725,765 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	崔 祐溶 (CHOI, Woo Yong)	東亜大学校 副教授	韓国	九州大学大学院	2010.03.26 ~ 2011.02.28	地方分権の進展下における住民訴訟制度の展開に関する研究
2	全 在晟 (CHUN, Chaesung)	ソウル大学校外交学科 教授	韓国	慶応大学法学部	2010.09.01 ~ 2011.07.31	北東アジアの国際関係の理論化と日韓関係
3	田 英洙 (JEON, Young Soo)	漢陽大学校国際大学院助 教授	韓国	慶応義塾大学経済学部	2010.02.26 ~ 2011.02.25	雇用延長と老人福祉に関する研究：老後所得 を中心に
4	鄭 炳浩 (JUNG, Byeong-Ho)	高麗大学校日語日文学科 副教授	韓国	立命館大学文学部	2011.02.26 ~ 2012.02.25	近代初期 (1890~1920) 韓国における日本語 文学の形成過程研究—韓国居留日本人社会の 日本語新聞・雑誌を通して
5	康 根亨 (KANG, Kun-Hyung)	国立済州大学校政治外交 学科 教授	韓国	慶応義塾大学法学部	2010.08.30 ~ 2011.08.29	鳩山由紀夫政権の対外政策と米日関係
6	金 基正 (KIM, Ki-Jung)	延世大学校 教授	韓国	慶応義塾大学法学部政治 学科	2010.09.20 ~ 2011.05.19	韓日文化的対話の東北亜地域秩序形成におけ る意味
7	金 相助 (KIM, Sang Jo)	国立済州大学校 教授	韓国	天理大学国際文化学部	2009.09.02 ~ 2010.09.01	朝鮮通信使と日本接待使の相手に対する理解 の比較研究
8	金 裕殷 (KIM, Youen)	漢陽大学校国際大学院 准 教授	韓国	早稲田大学アジア太平洋 研究センター	2009.08.05 ~ 2010.08.04	北東アジアにおける多国間安全保障組織設立 のための日韓協力について
9	金 永鍾 (KIM, Young Jong)	慶星大学校社会福祉学科 教授	韓国	日本福祉大学社会福祉学 部	2010.07.09 ~ 2011.01.08	日本と韓国における地域福祉推進の運営体系 に関する比較研究
10	具 度完 (KU, Do Wan)	環境社会研究所 所長	韓国	東北大学大学院文学研究 科	2010.05.10 ~ 2011.05.09	日本と韓国の環境運動比較研究：気候変動問 題を中心に
11	李 啓煌 (LEE, Gye-Whang)	仁荷大学校 教授	韓国	京都大学文学部	2010.07.12 ~ 2011.02.11	日本近世史における主なテーマに関する学 説・研究史
12	李 明姫 (LEE, Myung Hee)	新羅大学校 教授	韓国	学習院大学文学部日本語 日本文学科	2010.02.17 ~ 2011.02.16	日本語レベル別読解技術指導に関する研究
13	李 昇柱 (LEE, Seungjoo)	韓国中央大学校政治外交 学科 副教授	韓国	慶応義塾大学法学部政治 学科	2011.02.01 ~ 2012.01.31	断片化した東アジア地域主義の国内起源：日 本と韓国の比較研究
14	閔 炳杰 (MIN, Byung-Geol)	ソウル女子大学デザイン 学部 助教授	韓国	武蔵野美術大学	2009.07.15 ~ 2010.07.14	浮世絵の伝統を継承した日本のグラフィック デザインに関する考察

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	朴 天秀 (Park, Cheun Soo)	慶北大学校人文大学考古 人類学科教授	韓国	大阪大学大学院 文学研 究科	2011.03.01 ~ 2012.02.29	考古学から見た新羅と倭の関係に新たな照明 を当てる
16	庾喆仁 (Yoo, Chul-In)	済州大学校 教授	韓国	東北大学大学院教育学研 究学科	2010.08.31 ~ 2011.08.30	日本の東北地方における外国人配偶者
17	白 智立 (BAI, Zhi Li)	北京大学政府管理学院 副 教授／副院長	中国	京都大学大学院法学研究 科	2010.09.29 ~ 2011.03.28	国家統治における日本の政治的官僚の行動と その法制化問題の研究—比較行政論的アプ ローチから
18	陳 喜儒 (CHEN, Xiru)	中国作家協会作家、翻訳 家	中国	慶応大学	2009.10.11 ~ 2010.04.10	野間宏研究
19	陳 秀武 (CHEN, Xiuwu)	東北師範大学日本研究所 助教授	中国		2009.10.11 ~ 2010.04.10	坂本龍馬の国家意識について
20	淳干 淼洽 (CHUNYU, Miaoling)	西南政法大学政治と公共 事務学院 教授	中国	日本政治総合研究所	2009.09.03 ~ 2010.09.02	日本における公共サービス改革についての研 究とその中国への示唆
21	杜 穎 (DU, Ying)	黒龍江省社会科学院 副研 究員／副主任	中国	北海道大学大学院文学研 究科	2010.09.27 ~ 2011.09.26	黒龍江省における残留日本人孤児と養父母関 係問題研究について—帰国後の肉親関係を中 心に
22	郭 冬梅 (GUO, Dongmei)	東北師範大学日本研究所 助教授	中国	慶應義塾大学総合政策学 部	2009.07.05 ~ 2010.07.04	モッセの日本地方自治観
23	郭 美松 (GUO, Mei Song)	西南政法大学 副教授	中国	京都大学	2010.09.22 ~ 2011.09.21	人事訴訟手続における比較研究
24	金 香海 (JIN, Xianghai)	延辺大学人文社会科学学 院 教授	中国	大阪産業大学経済学部	2010.09.01 ~ 2011.08.31	中朝経済関係の進展に対する日本の政策研究
25	井 志忠 (JING, Zhizong)	東北師範大学日本研究所	中国	日本大学	2010.07.04 ~ 2011.07.03	日本のエネルギー戦略と中日合作
26	林 永強 (LAM, Wing Keung)	香港教育学院 准教授	中国	京都大学大学院文学研究 科	2010.01.16 ~ 2010.07.15	歴史を再考する—西田幾多郎と新儒教
27	李 濟滄 (LI, Jicang)	南京師範大学六朝歴史文 化研究中心 副主任	中国	龍谷大学文学部	2010.08.31 ~ 2011.08.30	近代日本における中国史研究—宮崎市定を中 心に
28	李 晶 (LI, Jing)	広東海洋大学外国語学院 日本語学科 主任／教授	中国	東北大学大学院文学研究 科	2011.02.23 ~ 2011.08.22	現代日本における農家と社会—秋保町馬場村 の調査を中心に
29	李 宇玲 (LI, Yuling)	中国同済大学外国語学院 日語系 副教授	中国	東京大学大学院人文社会 系研究科	2010.02.11 ~ 2011.02.10	古代日本文化の形成過程における唐代宮廷文 化の受容と変容
30	魯 義 (Lu, Yi)	国際関係学院 教授	中国	関西学院大学法学部	2010.08.20 ~ 2010.11.19	日本の公務員汚職防止対策に関する研究

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	沈 海濤 (SHEN, Haitao)	吉林大学東北アジア研究 院 所長	中国	東京財団	2010. 11. 07 ~ 2011. 02. 06	民主党政権下「日中戦略的互惠関係」の現状 及び行方に関する研究
32	史 桂芳 (SHI, Guifang)	首都師範大学 教授	中国	大阪大学大学院	2010. 10. 11 ~ 2010. 12. 10	日本の台湾植民地における文化統制政策
33	王 霞 (WANG, Xia)	中国人事社会保障部労働 賃金研究所 副研究員	中国	政策研究大学院大学	2010. 06. 30 ~ 2010. 09. 29	日本国の賃金調査システム
34	王 益鳴 (WANG, Yi Ming)	華南師範大学 助教授	中国	東京大学	2010. 09. 30 ~ 2011. 09. 29	平安朝密教文献整理研究
35	魏 志江 (WEI, Zhijiang)	中山大學 准教授	中国	東京大学大学院総合文化 研究科	2009. 09. 01 ~ 2010. 06. 30	中日韓三国の安全保障とアジア東北部におけ る安全保障機構の構築
36	武 向平 (WU, Xiangping)	中国吉林省社会科学院満 鉄資料センター 研究員	中国	新潟大学	2009. 06. 29 ~ 2010. 04. 20	中日満鉄研究の現状と比較
37	楊 偉 (YANG, Wei)	四川外語学院日本学研究 所 所長	中国	法政大学 国際日本学研 究所	2011. 02. 16 ~ 2012. 02. 15	多文化間アイデンティティの課題と可能性 —国境を越えた詩友黄瀛、草野心平、宮沢賢 治などを例に—
38	尹 曉亮 (YIN, Xiaoliang)	南開大学日本研究院 教 師	中国	早稲田大学	2011. 01. 15 ~ 2011. 07. 14	日本における省エネルギー政策及び中国への 示唆
39	張 伯玉 (Zhang, Boyu)	中国社会科学院日本研究 所 副研究員	中国	慶応義塾大学法学部	2010. 09. 30 ~ 2011. 03. 29	1950年代における中国の対日戦略と中日関係
40	支 菲娜 (ZHI, Feina)	北京電影学院 講師	中国	東京大学大学院	2009. 07. 11 ~ 2010. 07. 10	新世紀の裂変と多岐—中日両国青年監督の映 画作品の中における社会訴求比較研究
41	TSED, Batchuluun	モンゴル国立馬頭琴交響 楽団 指揮者/芸術監督	モンゴル	大阪大学	2010. 05. 22 ~ 2011. 03. 27	日本とモンゴルの伝統音楽の比較研究
42	SUWANRADA, Attaya	チュラロンコン大学文学 部 講師	タイ	大阪大学	2009. 11. 01 ~ 2010. 05. 31	平安文学における五行の象徴とその機能
43	HOLMES, Ronald Everette David	デ・ラサール大学政治学科 教授	フィリピン	茨城大学人文学部	2010. 09. 01 ~ 2011. 03. 15	中央政府と地方自治体の関係に関する日比比 較研究
44	TIONGSON, Nicanor G.	フィリピン大学フィル ム・インスティテュート 教授	フィリピン	京都大学東南アジア研究 センター	2010. 03. 25 ~ 2010. 10. 31	ネイション・ビルディングにおける統合の要 素としての文化の役割
45	LE, Tam Thi Thanh	ホーチミン市国家大学人 文社会科学大学言語学部 講師	ベトナム	東京外国語大学	2010. 09. 10 ~ 2011. 09. 09	禅の俳句とベトナムの古典詩への影響

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
46	PHAM, Huong Quynh	ベトナム社会科学学院社会学研究院 上席研究員	ベトナム	東京大学医学部健康科学・看護学科	2010.08.01 ~ 2010.12.23	日本とベトナムにおける性教育と性に関する文化が若者の性行動に及ぼす影響に関する研究
47	SOE, Shwe	認定NPO法人「難民を助ける会」プロジェクト・アシスタント	ミャンマー	東北大学大学院	2010.08.02 ~ 2011.06.01	環境評価と心理的健康に関する楽観性と悲観性の関係についての環境心理学的研究
48	TANKHA, Brij Mohan	デリー大学中国日本研究学科 教授	インド	一橋大学	2009.11.02 ~ 2010.10.31	明治期日本における宗教と近代化に向けた課題
49	ATHAMBAWA, Azeez Abdul	コロンボ大学経営学部 上級講師	スリランカ	早稲田大学	2010.03.11 ~ 2011.02.28	スリランカにおける日本の外国直接投資：アメリカと日本の外国直接投資の影響の比較
50	ESHAM, Mohamed	サバラガムワ大学	スリランカ	鳥取大学	2011.03.11 ~ 2012.03.10	日本の農協とスリランカの農民企業の比較
51	RATNAYAKE, Mudiyansele Patrick Ferdinands	ケラニア大学	スリランカ	日本大学	2010.07.31 ~ 2011.06.30	現代映画に反映される文化的価値と革新：日本とスリランカ映画の比較
52	POKHAREL, Madhav Prasad Sharma	国立トリブバン大学 教授	ネパール	神戸大学	2009.05.14 ~ 2010.05.13	ネパール語、日本語間の、分類詞を通じた対象物の抽象化における認識的類似点
53	THAPA, Ganga Bahadur	トリブバン大学 教授	ネパール	東京大学	2011.01.11 ~ 2012.01.10	公の監視のもとに：日本における議会の透明性
54	MALIK, Ahmad Rashid	イスラマバード政策研究所	パキスタン	尚美学園大学	2010.05.14 ~ 2011.03.18	恒久的自由作戦—海運断絶作戦：日本、米国と関連地域との関係
55	RAHMAN, Ataur Md	ダッカ大学 教授	バングラデシュ	名古屋大学大学院国際開発研究科	2009.08.31 ~ 2010.08.30	選挙制度と政治改革に関する日本の視点
56	MORRIS-SUZUKI, Teresa Irene Jessica	オーストラリア国立大学 教授	オーストラリア	東京大学大学院情報学環・学際情報学府	2009.12.16 ~ 2010.04.15	草の根からのアジア地域統合の試み：地方都市における市民グループの活動が、日本とアジア近隣諸国の関係構築に果たす役割について
57	BAFFELLI, Erica	オタゴ大学 講師	ニュージーランド	東京大学大学院人文社会科学系研究科宗教学・宗教史学研究室	2010.11.01 ~ 2011.01.31	日本におけるメディア、宗教と文化：1995年以降の日本の「新宗教」の研究

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (3) 日本研究フェローシップ (論文執筆) [アジア・大洋州]

人文・社会科学の研究者で博士論文作成のため来日する必要がある者を招へいする。

合計額 84,536,965 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	崔 子明 (CHOI, Jamyung)	ペンシルバニア大学史学 科 博士課程	韓国	東京大学法学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	東京帝国大学と近代日本中間階級社会の成立
2	金 度亨 (KIM, Do Hyung)	成均館大学校 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化 研究科	2009.10.05 ~ 2010.10.04	韓国近代啓蒙期における日本啓蒙思想の転移 と変容に関する研究
3	金 喜敬 (KIM, Hee-kyoung)	ソウル大学校 博士課程	韓国	東京大学	2010.06.06 ~ 2011.06.05	現代日本の地域社会における老年の社会文化 構成に関する研究：長野県佐久市を中心に
4	李 相佰 (LEE, Sangbaik)	カリフォルニア大学バー クレー校 博士課程	韓国	東京大学大学院総合文化 研究科	2010.08.01 ~ 2011.07.31	資源依存と日本政治経済：20世紀の石炭・石 油産業の事例を通じて
5	林 恩廷 (LIM, Eunjung)	ジョンズ・ホプキンス大 学高等国際問題研究大学 院 博士課程	韓国	財団法人日本エネルギー 経済研究所	2010.09.29 ~ 2011.01.28	分裂する国家、合致する国家：エネルギー政 策から見た日韓比較政治経済
6	石 椿 (SEOK, Hyang)	東西大学校日本語学科 非 常勤講師	韓国	立命館大学文学部	2010.05.10 ~ 2011.05.09	現代日本社会の変容と「ジェンダー・バック ラッシュ」についての考察
7	宋 京淑 (SONG, Kyung Sook)	成均館大学校大学院政治 外交学科 博士課程	韓国	法政大学大原社会問題研 究所	2009.09.01 ~ 2010.08.31	1980年代以後の日本における労資関係の変化 と国家一労働規制緩和の政治を中心に
8	艾 菁 (AI, Jing)	復旦大学国際関係公共政 策学院 博士課程	中国	京都大学人文科学研究所	2010.09.01 ~ 2011.08.31	冷戦後の日本におけるナショナリズムの研究
9	白 如純 (BAI, Ruchun)	中国社会科学院日本研究 所 講師	中国	日本貿易振興機構アジア 経済研究所地域研究セン ター	2009.09.17 ~ 2010.08.16	日本の東アジア地域協力政策の研究—中国の 関連政策との比較及び日中関係の視点から
10	陳 霜麗 (CHEN, Shuangli)	香港大学 博士課程	中国	京都大学大学院教育学研 究科	2009.11.09 ~ 2010.07.31	女子身分を構築し、近代性を再解釈する：明 治期 (1868~1912) におけるキリスト教女子 教育
11	方 勇男 (FANG, Yongnan)	吉林大学 博士課程	中国	学習院大学	2010.10.03 ~ 2011.10.02	中国における成年監護(後見) 制度の将来像
12	馮 慧 (FENG, Hui)	南京大学 博士課程	中国	早稲田大学文学学術院	2010.08.29 ~ 2011.08.28	正倉院宝物を中心とした東西文化交流の研究
13	李 含 (LI, Han)	中国社会科学院大学院 博 士課程	中国	同志社大学法学部	2009.08.01 ~ 2010.07.31	近代日本における平和思想の軌跡
14	梁 宝衛 (LIANG, Baowei)	復旦大学 博士課程	中国	東京大学東洋文化研究所	2009.09.10 ~ 2010.09.09	戦後日本のシベリアン・コントロール

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	梁 明霞 (LIANG, Mingxia)	北京大学外国語学院 博士課程	中国	国際日本文化研究センター	2009.09.26 ~ 2010.09.25	近代日本仏教の形成と発展の研究—政教関係を中心に—
16	陸 旭 (LU, Xu)	ペンシルバニア大学 博士課程	中国	同志社大学社会学部	2010.07.15 ~ 2011.06.30	帝国の「特使」：日本プロテスタント海外伝道者と太平洋両岸の日本移民社会、1890-1941
17	饶 建華 (RAO, Jian Hua)	西南大学 博士課程	中国	立命館大学アート・リサーチセンター	2010.06.20 ~ 2010.10.19	東山魁夷の絵画における美学思想研究
18	孫 紹紅 (SUN, Shaohong)	清華大学 博士課程	中国	早稲田大学アジア太平洋研究科	2010.11.11 ~ 2011.11.10	北東アジア安全協力に対する日本の発想、政策及び役割について
19	田 雪梅 (TIAN, Xuemei)	復旦大学 博士課程	中国	慶応義塾大学法学部	2009.09.20 ~ 2010.09.19	近・現代日本における「国民」の鑄造—明治維新から第二次世界大戦まで
20	王 璟 (WANG, Jing)	トロント大学 博士課程	中国	東京大学大学院総合文化研究科	2010.08.26 ~ 2011.08.25	植民地近代性（コロニアル・モダニティ）をめぐる都市空間と日本近代文学
21	謝 志海 (XIE, Zhihai)	北京大学国際関係学院 博士課程	中国	日本大学国際関係学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	GHQの対日宣教政策と占領期日本におけるクリスチャンブーム（1945～1951）
22	徐 鵬 (XU, Peng)	吉林大学 博士課程	中国	早稲田大学法学学術院	2009.08.30 ~ 2010.08.29	日本における民法典システムの研究
23	楊 向峰 (YANG, Xiangfeng)	南カルフォルニア大学 博士課程	中国	早稲田大学政治経済学部	2010.07.01 ~ 2011.06.30	政治思想、国家の実力と日本の価値外交
24	姚 永竜 (YAO, Yonglong)	中国社会科学院 准教授	中国	北海道大学	2010.07.21 ~ 2011.01.20	農業規模化経営推進の関連政策に関する日中の比較研究
25	ASHGAI, Delgermaa	モンゴル文化教育大学日本語学科 日本語教師	モンゴル	筑波大学大学院人文社会科学部	2010.05.10 ~ 2010.11.09	日本語・モンゴル語の慣用句の比較対照研究（日モ語の翻訳を事例に）
26	DASHDULAM, Dashdeleg	モンゴル国立大学 講師	モンゴル	大東文化大学国際関係学部	2009.09.28 ~ 2010.09.27	1930年から1945年までの日露関係におけるモンゴル
27	CHSURI, Asadayuth	チュラロンコン大学文学部東洋言語学科日本語・日本文学科 専任講師	タイ	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.05.10 ~ 2011.07.09	タイ人日本語学習者の独話における助詞「ネ」の機能の研究
28	JAMORNSURIYA, Winai	ナコーンラーチャシーマー・ラーチャパット大学 講師	タイ	野上記念法政大学能楽研究所	2010.06.01 ~ 2011.05.31	謡曲における恋の苦しみ
29	LEAOKITTIKUL, Rungruedee	シラバコーン大学 講師	タイ	麗澤大学外国語学部外国語学科	2009.06.07 ~ 2010.06.06	日本語における複合動詞とその複合動詞の前項動詞としての単純動詞との意味的な関係
30	HOANG, Minh Hang	ベトナム社会科学院付属東北アジア研究所日本研究センター 講師	ベトナム	国際日本文化研究センター	2010.05.22 ~ 2010.11.21	1970年代の福田ドクトリンと東南アジアにおける日本の政治的台頭

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
31	NGUYEN, Anh Thi Ngoc	国民経済大学 講師	ベトナム	京都大学経済研究所	2010.06.16 ~ 2010.12.15	日越企業文化比較研究—組織の移植と適応
32	BASU, Titli	ジャワハルラル・ネルー大学 博士課程	インド	東京大学社会科学研究所	2010.11.01 ~ 2011.10.31	気候変動に対する企業の反応：日本の展望
33	FAISAL, Mohd	ジャワハルラル・ネルー大学	インド	早稲田大学	2009.09.16 ~ 2010.09.01	日本の海外直接投資：1991年から2006年の製造業ケーススタディ
34	TENNETI, Vijay Suryakant	国立英語外国語大学 准教授	インド	国際日本文化研究センター	2011.01.15 ~ 2012.01.14	社会文化的理解と異文化交渉
35	KING, Emerald Louise	タスマニア大学 博士課程	オーストラリア	お茶の水女子大学	2009.09.15 ~ 2010.08.14	日本の女性文学における享楽主義的モチーフの系譜：河野多恵子から渡辺やよいまで
36	LOVELL, Stefan James	ラトロープ大学社会学部 博士課程	オーストラリア	神戸大学発達科学部	2010.08.01 ~ 2011.07.31	日本におけるマイノリティ共同体：多言語ラジオFMわいわい
37	SAITO, Kaori	オーストラリア国立大学 アジア太平洋研究科博士課程在籍	オーストラリア	早稲田大学、アジア太平洋研究科	2010.12.20 ~ 2011.08.19	日本の開発援助政策決定におけるアイデアとインスティテューションの役割

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (4) 日本研究フェローシップ (学者・研究者 短期) [アジア・大洋州]

諸外国の優れた日本研究者に日本で研究・調査活動を行う機会を提供する。

合計額 13,931,738 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	鄭 麟夏 (JUNG, Inha)	漢陽大学校建築学部 教授	韓国		2010.07.03 ~ 2010.08.29	日本建築の傳統論と東アジア近代建築の解釈への適用可能性探究
2	姜 仁旭 (KANG, In Uk)	釜慶大学校 助教授	韓国		2011.01.10 ~ 2011.02.22	東北アジア青銅器文化の観点から見た弥生時代の新認識
3	金 相準 (KIM, Sangjoon)	延世大学校政治外交学科 副教授	韓国		2010.06.10 ~ 2010.08.07	日本の政治移行と改革：政治家と官僚
4	蔡 亮 (CAI, Liang)	上海師範大学人文与伝播学院 ポスト・ドクター	中国		2010.06.26 ~ 2010.08.23	日本の上海へのODAについての研究
5	鍾 健平 (CHUNG, Chien-Peng)	嶺南大学校 准教授	中国		2010.03.01 ~ 2010.04.04	中国主導のアジア・太平洋地域機構における日本の役割
6	葛 涛 (GE, Tao)	上海社会科学院歴史研究所 副研究員	中国		2010.07.01 ~ 2010.08.28	日本語文献に映る近代上海
7	韓 釗 (HAN, Zhao)	陝西省文物交流中心 主任 / 研究員	中国		2010.08.01 ~ 2010.09.28	中日古代墓誌の比較研究
8	胡 樹 (HU, Shu)	内モンゴ大学外国語学院 院長 / 主任教授	中国		2010.07.10 ~ 2010.08.26	日本の村づくりとそれを支える都市と農村の交流活動に関する研究
9	李 国慶 (LI, Guo Qing)	中国社会科学院都市発展・環境研究所 教授	中国		2011.01.06 ~ 2011.03.05	テキスト『日本の社会』の改訂に伴う「日本の農村社会学」と「日本の環境社会学」2章の資料収集・執筆
10	張 維良 (TEO, Ee-Leong Victor)	香港大学日本研究学科 研究助教授	中国		2010.06.10 ~ 2010.08.04	日本と露・印の結び付き・中国という要素
11	張 維薇 (ZHANG, Wei Wei)	広東外語外貿大学 東方語言文化学院 博士課程	中国		2010.06.30 ~ 2010.08.26	親鸞における「信」についての思想史的考察
12	BOONTHARM, Davisi	シンガポール大学デザイン・環境学部建築科 准教授	シンガポール		2010.11.29 ~ 2011.01.09	流行と街：東京の持続的な発展と流行の役割
13	YONG, Chen Chen	マラヤ大学中国研究所 上級講師	マレーシア		2010.09.02 ~ 2010.10.30	日系多国籍企業の業績分析のための指標構築
14	MACNAUGHTAN, Chelle	RMIT大学デザイン・建築学部 博士課程	オーストラリア	東アジア都市学研究所	2010.10.23 ~ 2010.12.20	日本の枯山水庭園と建築における空間の聴覚的認識

アジア・大洋州交流事業費

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
15	OGURO, Susan Gail Johns	シドニー工科大学 芸術・社会学部 講師	オーストラリア	早稲田大学大学院 日本語教育研究科	2010.09.23 ~ 2010.10.26	継承言語としての日本語：日系豪州人の学習ニーズとカリキュラムについて

2. 人物交流事業費 / (5) 日本研究フェローシップ (高砂熱学工業)

インドネシア、フィリピン、マレーシア、ベトナムの日本研究専攻の学生に奨学金を供与する。

合計額 1,746,773 円

	氏名	現職	所属国	受入機関	期間	研究テーマ
1	NGUYEN, Anh Thi Ngoc	国民経済大学 講師	ベトナム	京都大学経済研究所	2010.06.16 ~ 2010.12.15	日越企業文化比較研究—組織の移植と適応

アジア・大洋州交流事業費

2. 人物交流事業費 / (6) 知的リーダー交流 (招へい) [アジア・大洋州]

諸外国の政治、経済、労働、メディア、教育等の各分野で影響力を有する人材を招へいし、日本側関係者との意見交換、当該分野での状況視察等の機会を提供する。

合計額 17,391,131 円

	事業名	氏名	現職	所属国	期間	事業内容
1	アジア・リーダーシップ・フェロー・プログラム	安 秉玉 (AHN, Byungok) 郭 志远 (GUO, Zhiyuan) RITHDEE, Kong PERERA, Sasanka SAEED, Fouzia 関 薫子	気候変動活動研究所 代表 安徽大学 教授 コロンボ大学 教授 バンコクポスト コラムニスト NGOメヘルガル 所長 国際連合事務局 人道問題調整室 政策担当官	韓国 中国 タイ スリランカ パキスタン 日本	2010. 09. 13 ~ 2011. 11. 12	日本を含むアジア諸国において社会的影響力の大きい知識人6名を選抜、フェローとして2カ月間日本に滞在する機会を提供する。フェローは、 <i>Asia in Dialogue: Visions and Action for a Humane Society</i> という共通テーマの下での共同作業、個々のフェローの関心に基づく研究活動を通してネットワーク形成を図ることにより、当該地域が直面する様々な課題に対する共通の問題意識を醸成する。さらに、それら問題の解決に取り組むための知的基盤作りを促進する

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (1) 知的交流会議 (助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 57,390,317 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	「ポスト2010年」の日韓「ニュー・センテニアル」に向けた2010年の検証—「現代史」の試み	韓国	現代日本学会	2010.04.01 ~ 2010.11.30	韓国併合100年の節目にあたり、日韓両国で企画される多数のイベントを政治・経済・社会・文化・歴史の3部門に分類して記録すると同時に、その企画意図や内容を国際シンポジウムで検証する日韓の共同事業。シンポジウムは仁荷大学にて実施 (2010.11.26~27)
2	日韓次世代学術フォーラム 第7回国際学術大会 (光州大会)	韓国	東西大学校	2010.04.01 ~ 2011.03.31	国際学術会議 (分科会発表及び特別講演及び討論)。細分化して実社会と乖離してしまったきらいのある日韓両国に中国を加えた東アジアの人文・社会科学分野において、学際的・学融合的な研究のできる若手研究者を育成するため、修士・博士課程の大学生に討論の場を与える学術会議。光州市の全南大学にて実施 (2010.06.25~28)
3	辺境・島嶼からみる北東アジア	韓国 中国 ロシア	東北アジア文化研究所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	シンポジウムと国際学術会議。東北アジア文化研究所は東北アジアを「海」を媒介して結びつく地域と捉え、同地域の文化の多様性と相互関連性を明らかにする研究を活動の柱とする。今次シンポジウムのテーマは「辺境・島嶼からみる北東アジア」。国際学術会議では、シンポジウムよりもテーマの幅を広げ、文学、語学、社会、歴史、政治・経済などの分科会に分かれて研究発表を行う。申請機関にて実施 (2010.10.15~17)
4	日韓中の地球温暖化と域内協力量案	韓国	韓日未来フォーラム	2010.04.01 ~ 2011.03.31	各国の利害関係にとらわれ共同対策が進みにくい地球温暖化問題について、その解決に向けて日中韓が検討すべき共同協力への道筋を議論するため、3国の専門家、ジャーナリスト、政策担当者が参加する国際会議。ソウル・プレスセンターで実施
5	アジアの女性と工芸	韓国	梨花女子大学校アジア女性センター	2010.05.01 ~ 2010.10.30	女性学の知見を活用しつつ、工芸を切り口としてアジアの多様性と共通性を見出すとともに、日韓関係史を考察する専門家ワークショップ及び国際会議を開催。日韓の工芸家、理論家、活動家、政策担当者等が参集し、申請機関にて実施 (2010.05-10)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
6	コミュニティデザイナー養成と持続可能な地域づくりのための韓日コミュニティ知的交流事業	韓国	希望製作所	2010.06.01 ~ 2010.10.30	「まちづくり」で長い歴史と基盤を有する日本が蓄積してきた市民参加型の社会変革の取り組みやノウハウを参考とし、韓国社会に応用するために韓国内でのセミナー及び国際ワークショップを実施。平成21年度からの継続事業。日本から自治体、地域市民社会、地域住民、専門家を招へいし、ソウル他韓国の3地域で実施（2010.09.30-10.02）
7	東アジア共同研究構築と日中両国の役割に関するセミナー	中国	吉林大学東北アジア研究院	2010.04.01 ~ 2010.12.31	鳩山由紀夫民主党政権の登場を機に再び活性化している東アジアの地域統合や地域協力について、民主党の政策の行方を展望し、日中両国の役割や戦略的互惠関係の枠組み等について議論する専門家会議。日中の大学・研究の関係者が50-70名集まり、吉林大学東北アジア研究院にて実施（2010.07.10~12）
8	働く女性のワーク・ライフ・バランスの実現に向けた中日研究比較	中国	中華女子学院	2010.04.01 ~ 2011.03.31	仕事と生活の調査（ワーク・ライフ・バランス）について日中間で経験と知見のシェアを行い、政府への提言等を通して、よりよい社会作りに役立てるための国際シンポジウム。北京で実施（2010.10.26~28）
9	近・現代日中文化交流から見られる現代性とアイデンティティーの模索	中国（香港）	香港中文大学日本研究学科	2010.04.01 ~ 2011.03.31	明治時代から現代にかけて、日中両国の知識層が捉えた現代性やアイデンティティーの問題について、日中の文化交流史から探る国際会議。日、中、米、カナダから11名の研究者が参加し、同大学日本研究学科にて実施（2010.11.13~14）
10	中日米関係及び東アジア共同体	中国	上海交通大学日本研究センター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日、中、米それぞれが展開する東アジア共同体構想の相違点やその要因、可能な妥協点と協調のあり方等について各国の研究者、ジャーナリスト、政府関係者が議論し、均衡のとれた三国関係への道を模索する専門家会議。上海にて実施（2010.07.18~21）
11	日中二大国の勃興と将来の東アジアの秩序	中国（香港）	嶺南大学	2010.05.01 ~ 2011.03.31	将来の東アジアの秩序と平和的発展を視野に、東アジアにおける日本と中国の関係、また日中と東アジアの他の国々、米国との権力関係について議論する国際会議。日、中、韓、豪、米、英から専門家が参加し、申請機関にて実施（2010.10.15）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
12	世界の日本学研究フォーラム in 北京	中国	中国人民大学教育研究所	2010.05.03 ~ 2011.02.20	世界各国・地域より日本研究者を北京に招き、日本学研究の最新動向と展望を語る国際シンポジウム。2010年7月に設立された申請機関付属日本政策研究センターの設立記念事業。中国人民大学逸夫会議センターにて実施(2010.11.04~06)。欧米、アジア地域から16名(中国からは政策立案者、メディア関係者、高等学校校長)が参加
13	日中青年作家会議2010	中国	中国社会科学院外国文学研究所	2010.09.06 ~ 2010.09.10	現在、一線で活躍している若手を中心に日中の作家、研究者を北京に集め、創作活動や相互の文化状況に関する報告及び議論を行なう国際会議。中国社会科学院外国文学研究所にて実施(2010.09.06~10)。日中若手作家間のネットワーク形成、相互理解の深化に寄与
14	東アジア共同体の可能性と日中米関係	中国	清華大学日本研究センター	2010.12.01 ~ 2011.03.31	鳩山由紀夫政権が積極的に提唱したことで再び注目を集めている東アジア共同体構想について、中国、日本、韓国、アメリカ、東南アジアなど多様な国際的視点から検討する国際共同研究シンポジウム。清華大学にて実施(2010.09.25~26)。日本、中国、韓国、台湾から20名ほどの研究者の参加があり、東アジア共同体研究を深化
15	カルチュラル・タイフーン2010:映像で結ぶ公共圏とアジア	日本	カルチュラル・タイフーン運営委員会	2010.04.01 ~ 2010.10.31	アジア各地から映像文化の最先端を担う研究者とクリエイターが、「映像」という科学技術と社会・文化との関係について検証する国際会議。「映像で結ぶ公共圏とアジア」をテーマに、アジアと日本の歴史的関係を検証するほか、消費文化のなかで創出され続けてきた多様な「映像」が構成する現代アジアの社会文化状況について分析する。駒沢大学旧三越迎賓館シルバーパビリオンにて開催(2010.07.02~04)
16	シンポジウム「ヒマラヤから現代社会を問うー世界の矛盾とヒマラヤ文化の役割と可能性」	日本	特定非営利活動法人ヒマラヤ・アーカイブ・ジャパン	2010.04.01 ~ 2010.11.20	ヒマラヤ映画祭 Tokyo 2010 関連企画としてのシンポジウム。ヒマラヤ地域が抱える諸問題の紹介及び多文化社会としての同地域と日本との相互交流イベントも実施。会議開催日は2010.11.20
17	第5回東アジア環境市民会議	日本	東アジア環境情報発伝所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	韓国光州にて、地球温暖化問題、特に「低炭素社会の実現」に関して、日中韓の参加者約150名が集う国際会議を開催(2010.10.16~20)

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
18	日中韓・東アジア文学フォーラム2010 in 北九州	日本	東アジア文学フォーラム日本委員会	2010.04.01 ～ 2011.03.31	2008年に韓国で実施した東アジア文学フォーラムの第2回目。「21世紀文学の海へ！今東アジアをどう書くか」を総合テーマに、貧富と欲望、場所の想像力、恋愛と文学などについて日中韓の文学者が議論する国際会議。近代化の過程で生じた遺恨を抱える3国が文学を通して他者を理解しあうと同時に、将来は東アジア地域の文学者のネットワーク構築を目指す。北九州市にて一般公開のもと実施（2010.12.03～07）
19	融合、共生、インタラクション —第2回中日文化比較研究国際シンポジウム	日本	東北大学中日文化比較研究所	2010.04.01 ～ 2011.03.31	日中両国から、文学及び科学技術分野の研究者が100名ほど集まり、両分野を横断的に相互融合させながら、情報社会化や支援環境の破壊、世界経済の一体化やブロック化などの問題に対する学際的、多次元的な対応を検討する国際会議。同研究所にて実施（2010.09.09～12）
20	気候変動に対処するための青少年教育 促進に関する会議	日本	東南アジア教育省連合・考古学・芸術センター	2010.04.01 ～ 2011.03.31	気候変動の緩和に向けて、アセアンと日本のNGO・国際機関で働く若手スタッフが、ネットワークを構築し、次世代を担う若手としてその解決に向けて必要な協力や活動のあり方について議論する。若手の発表とワークショップからなる公開会議で、アセアン及び日本から若手が約40名が参加し、200-250名の聴衆を集める。バンコクで実施（2011.01.14-16）
21	世界海垣サミット in しらほ	日本	財団法人世界自然保護基金（WWF） ジャパン	2010.04.01 ～ 2011.03.31	伝統的な漁具「海垣」をテーマに、伝統的漁業（知恵）の再認識、生物多様性の保護、持続可能な社会の形成等について話し合う国際シンポジウムを開催（2010.10.30～31）
22	第11回東アジア国際シンポジウム	日本	東アジア総合研究所	2010.08.23 ～ 2010.08.26	鳩山由紀夫民主党政権による東アジア共同体構想を受け、それを具体化する方途としての日中韓3国の経済協力事業を議論する国際会議。具体的には、環日本海フェリー、日韓中3国海底トンネル構想、北東アジアガスパイプライン構想の現状と課題、展望について討議。3国の研究者38名が参加し、韓国の仁川にて実施（2010.08.24）
23	第3回ウランバートル国際シンポジウム「日本・モンゴルの過去と現在—20世紀を中心に」	モンゴル	モンゴル科学アカデミー国際研究所	2010.04.01 ～ 2010.11.30	20世紀中の日・モ関係（特にノモンハン事件～日・モ国交回復）を焦点として、北東アジア地域の複雑な歴史状況を視野に入れつつ、研究者が様々な文献資料の分析、事件・戦争体験者の聴き取り調査等に基づく最新の研究成果を持ち寄り、シンポジウムを行う。ウランバートル市で実施（2010.09.10）

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
24	第3回「日本から学ぶ」国際シンポジウム	インドネシア	インドネシア大学大学院警察学科	2010.05.01～2010.12.31	都市問題について考える「日本から学ぶ」国際シンポジウム・シリーズの第3回目。今回のテーマは「日本の都市の安全とセキュリティ」を取り上げる。同大学において、プレ・シンポジウム(06.24)、シンポジウム(10.14)を実施。主な対象者は行政関係者や警察関係者、研究者、マスコミ関係者等で、成果を政策提言にまとめた
25	第3回フィリピン日本NGOパートナーシップ会議—専門性と経験の交換	フィリピン	開発NGOネットワーク協会	2010.04.01～2010.10.21	両国NGOのパートナーシップ強化を目指し、災害リスクマネジメント、貧困、平和構築、人口変化と文化、ODAの効率性等について議論する国際会議。日本とフィリピンの研究者、NGO、政府関係者、メディア、金融機関から約110名が参加し、ダバオで実施(2010.08.25～27)
26	世界経済及び環境の危機におけるコミュニティ・ディベロプメント教育の振興に関する第2回アジア地域会議	フィリピン	シカイ・キロス開発協会	2010.04.01～2011.03.31	環境問題、貧困、経済危機等の社会問題に対する地域開発学の有効性を検証し、高等教育機関向けのカリキュラム改訂や標準化に向けた研究や教材開発につなげるための国際会議。アセアン各国、日本の研究機関やNGOから教育関係者196名が参加し、ロスバニョスのフィリピン大学にて実施(2010.10.20～22)
27	東南アジアのイスラム、子供、平和の文化構築	フィリピン	サイコソシアル・サポートと子供の人權リソースセンター	2010.05.01～2010.10.31	東南アジアのムスリム児童の幼児期の経験や環境に注目し、人間形成に与える影響を人間の安全保障の視点から検証する専門家会議(平和構築事業)。日本、インドネシア、タイ、フィリピン、モルディブから政府関係者、研究者、市民社会団体、宗教関係者など179名が参加し、ケゾン市のフィリピン大学にて実施(2010.09.29～30)
28	近代アジア文学の検証～西欧文学理論的アプローチ	ベトナム	ベトナム社会科学院文学研究院	2010.04.01～2010.11.30	日・中・韓・米から文学の専門家を招へいし、前近代及び現代の東アジアの文学作品について、西欧の理論との比較の観点から議論する国際会議。2010年11月の2日間、ハノイにて実施
29	日本の中小企業から学ぶ成功への道(第2回)	ベトナム	ホーチミン市国家大学人文社会科学大学	2010.04.25～2010.11.25	第1回目のシンポジウム(2009年6月)のフォローアップとして、アジア各国の経済専門家を召集し、日本の中小企業の動向や現状を分析。ベトナムをはじめとするアジア諸国の経済発展に向け適切な指標を探る国際会議。ホーチミンにて実施(2010.10.14～15)
30	第24回アジア太平洋ラウンドテーブル「アジア太平洋の相互協力的安全保障強化」	マレーシア	マレーシア戦略国際問題研究所(ISIS)	2010.04.01～2010.08.31	アジア太平洋地域の相互協力的安全保障の強化をテーマに、同地域に存在する各論的問題について話し合う国際会議(2010.06.07～10)を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
31	南アジアのセキュリティー・セクターの改革：日本の事例に学ぶ	バングラデシュ	バングラデシュ国際戦略研究機関	2010.04.01 ～ 2011.03.31	南アジアの総合的な安全保障としてのセキュリティー・セクターの改革（SSR）について考える国際会議。南アジアのセキュリティー・セクターの現状について分析するとともに、モデル・ケースとして日本のセキュリティー・セクターの紹介も実施。会議実施時期は2010.12.07～08
32	大逆事件百年を顧みて	オーストラリア	ボンド大学	2010.04.01 ～ 2011.02.28	大逆事件から100周年を記念し、国際会議を開催。同事件はそれに続く思想統制と合わせて、大戦に至る日本の歴史において、政治、法律、社会、文化等の諸側面で多大の影響を与えた。日本、オーストラリア、ニュージーランド、欧州等から専門家を招き、同大学を会場として実施（2010.08.21～22）
33	Women's Voices—芸術表現を通じた主張と変化	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.04.01 ～ 2011.03.31	アジアにおける女性の地位に関する主張と社会の変化を、特に詩を中心とした芸術表現に焦点を当てて考察する。学者、詩人、ジャーナリストなど分野横断的な参加者を集め、インターネット上のフォーラム、講演会、詩の朗読会、シンポジウムなどを複合的に、同大学等で実施（2010.09.29～10.01）。同時期に当該大学で行われる第10回アジア国際女性会議の関連事業として実施
34	アジア大洋州における食糧問題：食料の安全保障に関する地域枠組の検討	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.05.01 ～ 2011.03.31	「食料の安全保障」をテーマに、2008年の食料危機を事例として、アジア大洋州における食料の安全保障に関する地域的枠組と、実際の取り組みを分析し、政策提言にまとめる。シンガポール大学の非伝統的安全保障研究所や大阪大学を中心とする日本の「人間の安全保障研究教育コンソーシアム」が協力。オーストラリア国立大学で実施（2010.10.06～08）
35	日本研究者を対象とした日本古文・旧字体日本語の読解講習	オーストラリア	マードック大学	2010.06.01 ～ 2011.02.28	日本研究者・大学院生を対象に、日本の古文・旧字体で書かれた文章の読解に関する集中講座を実施。講師は日本とオーストラリアの大学の専門家で、受講者は、オーストラリア、ニュージーランド、東南アジアの12大学から計〇名が参加。マードック大学で実施（2010.06.29～07.03）
36	三菱現代日本セミナー	オーストラリア	モナシュ大学日本研究センター	2011.03.18 ～ 2011.03.31	日本の経済と科学技術の現状と課題について、日本、中国、インドネシアより研究者を招くと共に、オーストラリアの研究者、ビジネス関係者を交えたセミナーを開催。日本からは、高橋豊治（中央大学教授）、永野博（総合政策大学院大学教授）を招へい

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
37	国際ワークショップ「アセアンと日本からみた大学の社会的役割及びその持続性—より良いコミュニケーションづくりにむけて」	東南アジア地域区分困難	アセアン大学ネットワーク	2010.09.13 ~ 2010.09.15	知識型社会の構築に向けて大学が果たす社会的責任について、高等教育機関の使命やコミュニティの発展、大学内ガバナンスの視点から検討する専門家ワークショップ。各国の事例を共有しながら、アセアンとして掲げる大学の社会的責任のコンセプトや具体的な活動等に関して議論する。3カ年計画事業の1年目。アセアン諸国のメンバー大学関係者や日本人講師35名が参加し、タイ・チョンブリのプラパー大学にて実施（2010.10.20～22）
38	アジアの文化産業：インド、日本、韓国の比較研究		一般財団法人社会文化研究センター	2010.12.21 ~ 2010.12.22	日本、インド、韓国の文化産業に関する比較研究。インドにおける日本及び韓国からの輸入及び同国への輸出について調査を行い、3カ国間の文化産業の流通について総合的に議論する会議

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (2) 知的交流会議 (企画参画助成) [アジア・大洋州]

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業 (国際会議等) に対し、経費の一部を助成する。

合計額 57,149,337 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	社会的企業をめぐる日韓会議	韓国	希望製作所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	平成20年度、21年度に国際交流基金主催・希望製作所共催で実施した社会的企業をめぐる日韓交流事業「社会的企業が拓く日韓の新たな出会い」により得られた日韓の社会的企業研究者・実践者の相互理解とネットワークを活用して、社会的企業家を目指す日韓青年交流プログラム (ヤング・チャレンジ) 及び同プログラムの成果を踏まえ、日韓を含むアジア全体の社会的企業セクターの発展を視野に入れた専門家会議を実施
2	東アジアの平和・ガバナンス・発展についてのEAIフェロープログラム	韓国	(East Asia Institute:EAI)	2010.07.01 ~ 2011.03.31	非アジア圏に居住する研究者5名を対象とするフェローシップ事業。フェローは、日本・慶應義塾大学をはじめとする東アジアの大学において研究・論文執筆を行うと同時に、セミナーや講義を実施。日本に関係する研究を行っているフェローについて助成
3	日・中・韓芸術家交流展覧会シンポジウム	韓国 中国	日中韓芸術家交流実行委員会	2010.11.15 ~ 2010.11.18	奈良県薬師寺にて、日・中・韓それぞれの国を代表する芸術大学の有識者が一堂に会し、3カ国の「美」の特徴や関わりについて比較考察するとともに、ヨーロッパが東アジアの芸術文化をどのように捉えてきたのか、その歴史的変遷を明らかにし、日・中・韓3カ国の文化共同体運動の指針、方途を検討するシンポジウムを実施 (2010.11.15~18)
4	東アジア共同体に向けてー日本と朝鮮半島	韓国	東北アジア研究会	2011.03.01 ~ 2011.03.31	東アジア共同体の形成にむけてアメリカ、韓国、北朝鮮、日本が果たす役割と課題について政治、安全保障、経済、外交など多様な側面から議論する国際シンポジウム。朝鮮半島や東アジア共同体に関する研究者や実務家を招へいすることで、各地域からの専門家交流を促進させて東アジア共同体の土台となる「知の共同体」の形成をはかるもので、若手研究者や大学院生を積極的に参画させ、東アジア共同体の形成・発展に関する議論を継承する次世代の育成も目的のひとつとする

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
5	第6回東京－北京フォーラム	中国	特定非営利活動法人言論NPO	2010.04.01～2011.03.31	アジアや日中の共通課題の解決に向けて、両国の有識者や国民が広く共に考え、政府関係の悪化に左右されない本音で真剣に議論ができる民間対話の場を実現することをめざす継続対話事業。常設である「メディア」「政治」「経済」「地方」対話を実施するほか、今回は「安全保障」「文化交流」「環境」の3分科会を設置。東京にて実施（2010.08.30～31）
6	日韓共同研究会議	日本	慶應義塾大学東アジア研究所	2010.04.01～2011.03.31	北東アジアの地域安全保障、国内社会福祉問題等の日韓両国の共通課題につき、日韓の若手研究者が共同研究を行い、その成果を日韓双方で開く学術会議で発表
7	日中韓における日本研究－伝統、範囲、方法	日本	日本研究サーベイ実行委員会	2010.04.01～2011.03.31	日中韓国における日本研究を論じられ、理解が変容してきたかを両国の有力な研究者の視点で分析・発表してもらい、日本側研究者と共に議論することにより、理解を深める。また、日・中、日・韓という二国間関係にとどまらない東アジア圏あるいはグローバル社会の中での日本のあり方につき議論。前年度は政治学と国際関係論をテーマに、発表・討議したが、本年度は、社会学と歴史学について扱った
8	「文化による平和構築」セミナー	日本	国際文化会館	2010.04.01～2011.03.31	文化・芸術を通じて平和構築に貢献している各界の活動家が、それぞれの活動への思いや、文化や芸術が、世界の様々な地域や国でどのような対話の場を生み、平和に貢献しているかを語り、その可能性や課題について考える連続講座。国際文化会館（東京）にて実施（2011.02.07～03.02）
9	福岡国際文化シンポジウム2010	日本	一般財団法人福岡ユネスコ協会	2010.08.01～2011.03.31	四方田犬彦（明治学院大学教授）、香港のメアリー・ウォン（嶺南大学講師／文学・映画研究）、タイのプラブダー・ユン（作家／脚本家）、後小路雅弘（九州大学教授／現代美術）、李鳳宇（映画プロデューサー）による、アジアにおける現代文化の交流に関するシンポジウムを開催
10	尖閣諸島問題と日中の世論悪化を考える有識者緊急会議	日本	特定非営利活動法人言論NPO	2011.03.31～2011.04.03	2010年9月に発生した尖閣諸島海域での衝突事件にともない、日中関係が悪化し、双方の国民の感情も悪化している。こうした対立の原因や改善方法について、日本の有識者が訪中し、中国側関係者と会議を開催

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
11	国際的対話による経済パラダイムの再考	日本	特定非営利活動法人懐かしい未来	2011.03.01 ~ 2012.03.31	一国の経済や国民の生活に多様な影響を及ぼし、さらに南北格差を促進した経済に焦点をあて、協働を基盤とした新しい社会づくりに向けて、従来とは異なる新たな経済パラダイムのあり方や可能性を探究する連続会議事業。アジア太平洋地域を軸に「経済のローカル化」を議論する会議を開催。豪州バイロン・ベイにて準備会議（2010.03.29～30）を実施、本会議（2012.03.23～25）は米国パークレイにて実施
12	中国・ベトナム知識人の対話と日本	日本	早稲田大学	2011.03.07 ~ 2012.03.31	中国、ベトナム両国の知識層とパイプのある日本人有識者および在留のベトナム・中国人研究者が第三者として参画することで、より客観的な立場から中越間の知識人対話を促進し、中長期的には韓国や東南アジアの知識人を含めた地域知識人フォーラムの設立を目指す会議事業。2011年3月実施予定であったが、東日本大震災のため翌年度に延期（2011.05.28に実施）
13	アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ2010	インドネシア	コムニタス・ティカール・パンダン (Kommunitas Tikar Pandan)	2010.12.05 ~ 2010.12.12	インドネシアのアチェにおいて30年に亘って続いてきた紛争の終結後に、地域の復興と住民同士の信頼感の醸成を目的として平成19年度から実施している事業の最終年度。21年度に実施予定であったが、アチェ地域における外国人襲撃事件の発生により実施が延期されていたもの。次世代を担う子どものエンパワーメントに主眼を置いたワークショップ実施にあたり、現地での実施経費を助成
14	平和の光：ヴィジョンからアクションへ、紛争から平和へ	フィリピン	イスラム民主主義フィリピンセンター	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ミンダナオにおける紛争解決には女性による草の根レベルでの貢献とネットワークの構築が必須であるという認識から、アジアの関係国から女性ムスリム指導者や平和構築分野の専門家が参加し、女性ムスリムの能力開発・指導者育成を行う事業の第2年目。ザンボアンガにて実施（2011.02）
15	ミンダナオの青少年による平和構築のための映画製作事業	フィリピン	ブループ・メディア財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	ミンダナオ各地の青少年(高校生)を対象に実施する、日本とフィリピンによる平和構築事業。ミンダナオ各地のムスリム地域、クリスチャン地域、先住民地域の13～17歳の青少年を対象にジャーナリストや映像関係者が映像製作を指導し、平和に関する3分間の映像を製作。作品を一堂に集めて上映会とセミナーを開催。2010年7月から12月の間にミンダナオで製作

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
16	東南アジア研究地域交流プログラム (SEASREP)	東南アジア地域区分困難	SEASREP財団	2010.04.01 ~ 2011.03.31	今後の東南アジアの経済発展及び人口移動の観点から、3カ年計画の国際共同研究「現代の東南アジアにおける中国移民：ベトナム、マレーシアにおける事例研究と日本への中国移民」の第1年目として、マレーシア、ベトナム、日本における華僑に関する事例研究を通年で実施。また東南アジア諸国における人文・社会科学分野の研究者間の相互理解促進とネットワーク構築を促進することにより、同地域における東南アジア研究を促進するプログラム (SEASREP) の運営に対して助成
17	大規模自然災害に関する語り継ぎ文化	フィリピン	フィリピン大学国際研究センター	2011.02.25 ~ 2011.02.28	2010年2月に実施した国際会議「大規模災害回避・軽減のための経験と教育：日本と東南アジア防災文化」の継続事業。過去の災害体験や教訓を伝承し、災害時の避難行動や普段の備えに生かす「防災文化」をコンセプトに、東南アジア、南太平洋、米国、欧州から専門家が参加し、特に日・比における歴史的な火山噴火に関する語り継ぎと、防災・減災害教育についての経験を共有
18	国際共同研究：アジア地域における「人間の安全保障」への新しいアプローチ	オーストラリア	オーストラリア国立大学	2010.04.01 ~ 2011.03.31	アジア・大洋州地域において、「人間の安全保障」政策に対する「狭義」及び「広義」のアプローチがいかに調整され、地域的な特性をもって実施されているかを検討する国際共同研究・会議。2009年から開始された事業の2年目。2010年は日・豪・中より7大学が参加し、研究プロジェクトを推進するとともに、9月にはプロジェクト参加者の他、関係専門家や政策関係者を招へいし、会議を行った
19	アジア文学シンポジウム：作家と味わい、考えるアジア文学の豊饒	中国 モンゴル	アジア文学シンポジウム実行委員会	2011.01.01 ~ 2011.05.31	2011年3月12日、日本財団ホールにて、5年間にわたってアジア10カ国の作家を訪ね、交流してきた高樹のぶ子（作家）の活動の総まとめとして開催された国際シンポジウム。同氏のほか、作家の辻原登、楊逸、モンゴルから児童文学者のジャンビーン・ダシドンドグを招いて、「アジア各国の作家たちはなぜ書くのか」「我々はアジアの文学を通じてどんな滋養を受け取ることができるのか」を討論

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (3) 知的交流会議（主催）〔アジア・大洋州〕

日本と諸外国の相互理解の促進と、より緊密な関係の構築、知的交流の推進を目的とした、国際的な知的共同事業（国際会議、セミナー、ワークショップ等）を開催する。

合計額 43,283,625 円

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
1	日中韓次世代リーダーフォーラム2010	韓国 中国	韓国国際交流財団 中華全国青年連合会	2010.07.29 ~ 2010.08.08	日中韓3カ国の各界（政・官・学・財・ジャーナリズム・NPOの6分野）の次世代リーダー同士が、互いに信頼感を醸成し、長期的なネットワークを構築するために、共通の課題について対話を行う機会をつくることを目的に、3カ国を巡る合宿形式のプログラムを実施。本年度は、韓国（済州）、日本（沖縄）、中国（上海・寧波）を訪問
2	日韓多文化共生都市セミナー	韓国	韓国多文化共生学会	2011.08.19	日本や韓国では、外国人住民の多い自治体を中心に、国籍や民族等の異なる住民が共に生きていく地域づくりを進めるために「多民族共生」や「多分化社会」という観点から様々な政策が進められているが、欧州では、新しい都市政策として「インターカルチュラル・シティ」の考え方が注目されている。 本セミナーは、特に地域住民の多文化理解、住民と外国人との間の異文化交流への努力をどのように維持していくのかについて、欧州の「インターカルチュラル・シティ」に基づく取組みを参考に、日本や韓国の都市のあるべき姿を探ることを目的としたもの。 当初2011年3月に実施予定であったが、東日本大震災の発生により延期。内容を一部拡大した上、平成23年度に「日韓欧多文化共生都市セミナー」として2011年8月19日にソウルにて開催
3	中国知識人・研究者個人招へい	中国	財団法人農林中金総合研究所 慶應義塾大学総合政策学部 東京大学大学院情報学環 東京大学東洋文化研究所 日中市民社会ネットワーク 日本エネルギー経済研究所 中東研究センター 日本莫邦富事務所	2010.04.01 ~ 2011.03.31	日本に滞在した経験の少ない中国の若手・中堅の知識人及び研究者8名を日本に招へい。 董郁玉（光明日報論説委員）、趙静（南方都市報コラムニスト）、梁書民（中国農業科学院農業経済発展研究所副研究員）、呉曉佳（中国農業部農村経済体制・経営管理士主任科員）、江迅（亜洲週刊シニア特派員）、張巳瑛（愛自然教育コンサルティングセンターセンター長）、張玫（上海国際問題研究院研究員）、葉彤（生活・読書・新知三聯書店編集者）。 日本社会・文化などに触れる機会を提供することで日本についての理解を促進するとともに、日本人研究者、専門家等との交流・対話などを通じて個人的な関係を築くことにより将来的な日中間の知的ネットワークを形成

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	共催・協力機関	期間	事業内容
4	中国知識人・研究者グループ招へい	中国		2011.02.16 ～ 2011.02.28	日本研究を専門としないが対日理解・関心を促すことに長期的な効果が期待される研究者、有識者8名を中国から招へい。国務院台湾事務弁公室グループ（4名）（2011.02.16～21）及び共産党中央対外連絡部グループ（4名）（2011.02.21～28）が、それぞれ訪日、同分野の日本人研究者・専門機関とのネットワーク形成を促進
5	第6回日中韓文化交流フォーラム	中国 韓国	公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団	2010.11.15 ～ 2010.11.18	北東アジアにおける民間主導の文化交流を積極的に推進し、同地域の共同繁栄と発展に寄与することを目的に、日中韓3カ国の委員19名が一堂に会し薬師寺で開催。テーマは「東アジア共同体形成における文化の役割—過去・現在・未来—」
6	東南アジア若手イスラム知識人グループ招へい	インドネシア シンガポール タイ フィリピン マレーシア		2010.11.10 ～ 2010.11.19	東南アジア諸国の若手イスラム知識人を日本に招へいし、日本が歩んだ近代化の過程を紹介しながら意見交換を行い、ネットワーク構築をはかる事業。インドネシア5名、マレーシア、フィリピン、タイ、シンガポールから各1名の計9名を招へい
7	アチェの子どもたちと創る演劇ワークショップ 2010	インドネシア	コムニタス・ティカール・パンダン (Kommunitas Tikar Pandan)	2010.12.05 ～ 2010.12.12	インドネシアのアチェにおいて30年に亘って続いてきた紛争の終結後に、地域の復興と住民同士の信頼感の醸成を目的として平成19年度から実施している事業の最終年度。21年度に実施予定であったが、アチェ地域における外国人襲撃事件の発生により実施が延期されていたもの。 花崎 攝（はなさき・せつ：教育演劇専門家）、すずきこーた（教育演劇専門家）を派遣し、次世代を担う子どものエンパワーメントに主眼を置いたワークショップを実施。 別途知的交流会議（企画参画助成）〔アジア・大洋州〕プログラムにより、現地の共催団体に対し現地での実施経費を助成
8	南上座部仏教関係者招へい事業	ミャンマー スリランカ	ルフナ大学 ペラデニア大学 国際マビダルマ大学	2010.07.15 ～ 2010.10.31	アジア諸国から宗教学・宗教文化の専門家を講師として招へいし、宗教倫理、哲学、人類学などの学際的な視点から仏教とヒンドゥー教がもたらした精神文化を問い直し、アジアがともに手を取り合って建設的な未来を創造していくための基底文化である宗教とその役割について、宗教・宗派を超えた対話を行う知的交流事業を実施
9	「社会的企業をめぐる日韓会議」報告書作成	韓国	希望製作所	2010.04.01 ～ 2011.03.31	平成20、21年度に韓国希望製作所との共催で実施した2回の社会的企業をめぐる日韓会議「社会的企業が拓く日韓の新たな出会い」の成果をまとめ、報告書『社会的企業の自立は可能なのか』を作成
10	スリランカ文化人グループ招へい（事前調査）	スリランカ		2010.04.01 ～ 2011.03.31	今後の招へい実施のために、現地に足羽與志子（一橋大学教授）、佐藤万帆（笹川平和財団研究員）を派遣し、事前調査を実施

アジア・大洋州交流事業費

3. 催し等事業費 / (4) 人材育成グラント [アジア・大洋州]

日本と海外の市民青少年の相互理解を促進するため、日本の団体が実施または参加する事業に対し、旅費の一部を助成する。

合計額 8,280,143 円

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
1	東アジアの百年を考える日韓ユースキャンプ	韓国	在日コリアン連合 (KEY) 東京	2010.08.02 ~ 2010.08.09	日韓両国で生活する多様な青年が、「東アジア」という視野の下で、両国の歴史・平和・人権問題について、フィールドワーク等を通じて共同で学び考えるプログラムを両国で連続開催することにより、両国の青年間の相互理解と対話関係を深めるとともに、今後の日韓青年交流事業の担い手を育成する
2	第25回日韓学生会議東京大会	韓国	日韓学生会議	2010.08.05 ~ 2010.08.19	日韓学生会議に所属する18名と韓日学生会議に所属する18名が通訳6名を交え、2週間にわたる共同生活を行いつつ、ボランティアやフィールドワーク調査などを通じて新たな日韓友好の方策を探求する
3	第1回日中韓模擬国連会議日本開催事業	日本	公益財団法人日本国際連合協会	2010.09.12 ~ 2010.09.16	日本、中国、韓国の若者を招へいし、模擬国連会議を実施する。また、各国の若者には日本文化に直接触れてもらうため、文化施設訪問を通じた国際交流を図る。最後には有識者を招き、日中韓それぞれの若者の意見を交換し、相互理解に努める
4	LEAFフォーラム2010 日本セッション	日本	Linking East Asian Future (LEAF) 日本実行委員会	2010.09.26 ~ 2010.10.02	日中韓の大学・大学院より約20名ずつ選ばれた計60数名の参加者が、日本において7日間の共同生活とフィールドワークを通じてリーダーシップを学び、東アジア地域の課題に対する解決策を提示し、東アジア地域の課題を解決するためのパートナーとなるような、生涯続く強い絆の獲得を目指す
5	北東アジア学生ラウンドテーブル	日本	北東アジア学生ラウンドテーブル	2011.01.12 ~ 2011.01.16	韓国及びモンゴルから大学生各5名を招き、共通の課題について忌憚のない意見交換と議論を深めると共に、これらを正式な国際会議の形式と手続きにて実施することにより、学生が将来、真の国際人となる実践の機会とするための国際会議、及び関連の交流活動を行う
6	第29回日中学生会議中国開催	日本 中国	第29期日中学生会議実行委員会	2010.08.06 ~ 2010.08.26	日中の学生が中国を舞台に、分科会での討論、文化交流、フィールドワークなどさまざまな活動を3週間にわたって行う中で、相互理解と友情を醸成し、学生からの日中友好を推進する。中国での本会議活動の前には、東京で2日間の事前合宿を行う。本会議での成果は、報告会などを通して社会へ発信する
7	日本の公益経済学習交流プロジェクト	日本	特定非営利活動法人日本エコツアーリズムセンター	2010.08.10 ~ 2010.09.13	上海で民間公益組織 (NGO) の設立と育成を行うNPI公益組織発展センターと協力し、上海万博期間中にソーシャル・イノベーション展示・交流施設The Nestで、中国国内外の社会的企業、NGOが集まる活動展示・交流プロジェクトに参加し、日中の公益経済分野の交流と相互理解、ネットワーク形成を図る
8	STeLA Leadership Forum 2010	日本	STeLA (Science and Rechnology Leadership Association) 日本支部	2010.08.15 ~ 2010.08.22	米国・フランス・中国・日本より計40名の学生を集め、中国・北京で、持続可能な科学技術発展のあり方をテーマとした講演・議論・共同作業などを通じて国際的リーダーの育成を行う

アジア・大洋州交流事業費

	事業名	対象国	助成対象機関	期間	事業内容
9	京論壇 2010	日本	京論壇東京大学実行委員会	2010. 09. 15 ～ 2010. 10. 03	東京大学、北京大学の学部生・院生による日中の大学生間の討論・交流プログラム。北京セッション（9.15～21）、東京セッション（9.26～10.3）で構成。2週間寝食を共にしながら日中間の課題を話し合い、相互理解及び信頼醸成を目指すほか、報告会・報告書出版を通じて社会発信を行う
10	国際ワークショップ「歴史都市・京都における都市居住の現代的課題」	日本	NPO法人西山卯三記念 すま い・まちづくり文庫	2010. 08. 15 ～ 2010. 08. 20	日本の都市居住のあり方やそれに関する政策の現代的課題を学ぶためのワークショップを京都で開催。日本の住まい・町づくりの実態、研究上の課題、実践上の課題について学生が討議
11	第4回日本ベトナム学生会議 本会議	日本	日本ベトナム学生会議	2010. 08. 05 ～ 2010. 08. 22	学生という立場から日越友好に貢献するという理念のもと、将来を担う両国学生が率直な討論や交流活動を通じて、相互理解並びに友好を増進させる
12	第14期日本インド学生会議 本会議	日本	日本インド学生会議	2010. 08. 15 ～ 2010. 09. 11	日印間の相互理解を促進させるための草の根交流を目指す。日本とインドの両国の学生を主体とする国際学生会議の分科会、文化交流会、企業訪問などからなる本会議を日本側委員会として運営
13	災害に関するアジア諸国共同 トレーニング	日本	国際医学生連盟（IFMSA） 日本支部	2010. 08. 23 ～ 2010. 08. 24	近年アジアで多発する災害に対し、医療系学生の意識を高め、有事の際に中心となって災害医療に携わることのできる人材を育成